



PowerBook G4

設置と準備

PowerBook G4 コンピュータの
設置方法、システムの拡張方法、
トラブル対策に関する重要な情報
が書かれています

Apple Computer, Inc.

© 2003 Apple Computer, Inc. All rights reserved.

本書の著作権はアップルコンピュータ社に帰属します。本書の一部あるいは全部をアップルコンピュータ社から書面による事前の許諾を得ることなく複製複製（コピー）することを禁じます。

Apple ロゴは米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。キーボードから入力可能な Apple ロゴについても、これをアップルコンピュータ社からの書面による事前の許諾なしに商業的な目的で利用すると、商標および企業間の自由競争原理の侵害となる場合があります。

本書には正確な情報を記載するように努めました。ただし、誤植や制作上の誤記がないことを保証するものではありません。

Apple Computer, Inc.

1 Infinite Loop

Cupertino, CA 95014-2084

Apple Japan, Inc.

アップルコンピュータ株式会社

〒163-1480東京都新宿区西新宿3丁目20番2号

東京オペラシティタワー

www.apple.co.jp/

Apple、Apple ロゴ、Apple Store、AppleTalk、Final Cut Pro、FireWire、Mac、Macintosh、Mac ロゴ、PowerBook、QuickTime、および Sherlock は米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。

AirMac、Finder、iCal、iChat、iDVD、iMovie、iPhoto、iPod、iTunes、および SuperDrive は米国アップルコンピュータ社の商標です。

ENERGY STAR® は米国の登録商標です。

Java は、Sun Microsystems, Inc の商標です。

PowerPC は International Business Machines Corporation の商標であり、所定のライセンス契約の下で使用しているものです。


本書に記載のその他の社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。本書に記載の他社商品名は参考を目的としたものであり、それらの製品の使用を強制あるいは推奨するものではありません。また、アップルは他社製品の性能または使用につきましては一切の責任を負いません。

Dolby Laboratories からの実施権に基づき製造されています。「Dolby」、「Pro Logic」、およびダブル D 記号は、Dolby Laboratories の商標です。非公開機密著作物。© 1992 ~ 1997 Dolby Laboratories, Inc. All rights reserved.

本マニュアルで解説している製品には著作権保護技術が組み込まれています。この著作権保護技術は、Macrovision Corporation、およびその他の権利者が所有する米国特許、およびその他の知的財産権の正当な権利によって保護されています。この著作権保護技術の使用については、Macrovision Corporation の許諾が必要であり、特に同社の許諾のない限りは一般家庭、および非公開の状況でのみ使用しうるものです。リバースエンジニアリングおよび解体は禁止されています。

米国特許出願番号 4,631,603、4,577,216、4,819,098 および 4,907,093 は非公開の状況における使用のみ許諾されます。

「Sherlock」でご利用いただける機能やコンテンツは予告なく変更または中止されることがあります。



目次

第 1 章 はじめに 7

- コンピュータをコンセントに接続する 8
- バッテリーを調整して性能を上げる 9
- 内蔵モデムを接続する 9
- ディスプレイを開く 10
- コンピュータの電源を入れる 11
- 画面上の項目を動かす 12
- 内蔵ディスプレイを調節する 13
- 次のステップ 14
- 作業を終了するときの操作 15

第 2 章 このコンピュータについて 17

- PowerBook の基本機能 18
- PowerBook のその他の機能 20
- PowerBook の内部について 22
- Mac OS X について 24
- .Mac—Mac ユーザのためのインターネットサービス 25
- Sherlock—インターネット検索の探偵 26
- Apple.com—インターネット体験の出発点 27
- QuickTime—インターネット上のオーディオ／ビデオ 28
- iMovie—デジタルムービーの作成と編集 29
- iPhoto—デジタル写真の整理、編集、および共有 30
- iTunes—お使いの Mac と iPod にデジタル音楽を 31
- iDVD—独自の DVD の作成 32
- 自動アップデート—Mac を最新の状態にする 33

iCal— 自分用のカレンダーを整理して共有する	34
iChat— インターネット上での友人とのチャット	35
アカウント—1台の Mac を複数の利用者で使用する	36
Mac ヘルプ—Macintosh に関するすべての質問に回答	37

第 3 章 コンピュータを使用する 39

USB (Universal Serial Bus)	40
FireWire	42
Bluetooth 装置を使用する	44
AirMac によるワイヤレスインターネット接続とネットワーク機能	45
Ethernet ポート (10/100Base-T)	46
外部ビデオ出力機能 (VGA、コンポジット、および S ビデオ)	47
バッテリー	50
光学式ドライブを使用する	54
キーボードコントロール	58
組み込みのテンキーを使う	59
コンピュータのセキュリティ	59

第 4 章 オペレーティングシステムで作業する 61

Mac OS X について	61
Mac OS X で Classic を使用する	62

第 5 章 コンピュータの機能を拡張する 63

メモリを増設する	63
AirMac Extreme カードを取り付ける	69

第 6 章 トラブルへの対処方法 73

この章の内容	73
コンピュータの使用を妨げるトラブル	74
コンピュータのソフトウェアを復元する	75
その他のトラブル	76
製品のシリアル番号を確認する	77

付録 A 仕様 79

Apple システム・プロフィール	79
-------------------	----

付録 B 保守、使用、安全性についての情報 81

- PowerBook を清掃する 81
- PowerBook を持ち運ぶ 81
- PowerBook を保管する 81
- コンピュータを安全に設置、使用するために 82
- 一般的な安全上の注意 83
- 環境向上への取り組み 84
- 人間工学 84

付録 C インターネットに接続する 87

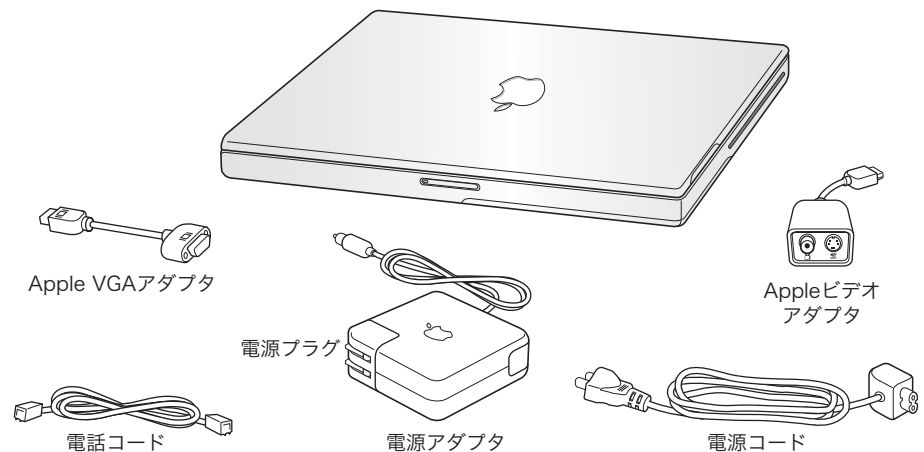
- ダイヤルアップ (PPP) 接続 88
- DSL、ケーブルモデム、LAN でのインターネット接続 91
- 接続のトラブルシューティング 96

1

はじめに

お求めの PowerBook は、手早く設置してすぐに使い始めることができるように設計されています。PowerBook や Macintosh コンピュータを初めてお使いになる方は、まずこの章をお読みください。PowerBook を使い始めるまでの準備と詳しい情報を調べる方法について説明しています。

今までに Mac を使ったことがある方は、新しい PowerBook をすぐに使い始めるだけの知識をすでにお持ちかもしれません。第2章「このコンピュータについて」を一読して、お求めの PowerBook の新機能についての情報を確認してください。



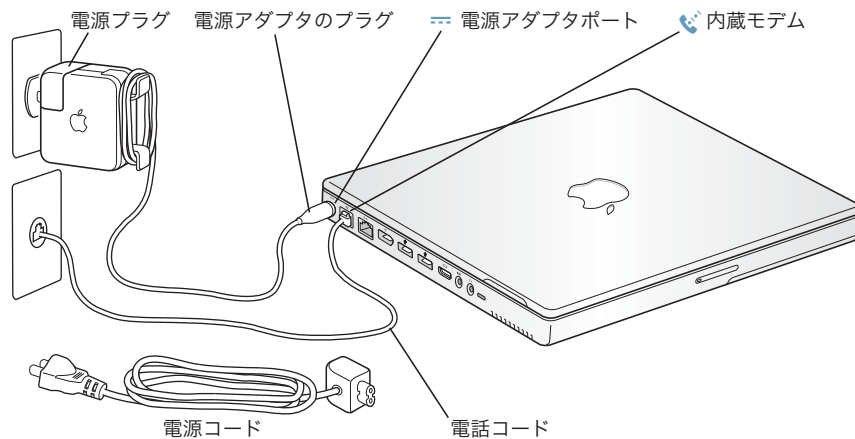
重要 電源コンセントにコンピュータのプラグを差し込む前に、設置手順の解説と安全性に関する情報（81 ページを参照）をよく読んでください。

コンピュータをコンセントに接続する

電源アダプタを使って PowerBook をコンセントに接続すると、PowerBook に取り付けられているバッテリーが充電されます。輸送や保管の際に、バッテリーが放電してしまう場合があります。まず電源アダプタを使って PowerBook をコンセントに接続してください。

重要 最適なパフォーマンスを得るには、お求めのコンピュータに付属しているものだけを使用してください。

- 1 電源アダプタの電源プラグをコンセントに差し込みます。電源アダプタとコンセントの距離が離れている場合は、電源プラグをアダプタから取り外し、付属の電源コードの一端をアダプタに差し込み、もう一端をコンセントに差し込むこともできます。電源コードは、お求めの電源アダプタに付属しているものだけを使用してください。



- 2 電源アダプタのプラグをコンピュータの左側面にある電源アダプタポート (= アイコンで示されています) に差し込みます。電源プラグを電源アダプタポートにしっかりと差し込んで、プラグが正しく接続され、コンピュータに電源が供給されていることを確認してください。

正しく接続されると、電源アダプタのプラグのランプが点灯します。オレンジ色のランプは、バッテリーが充電中であることを示します。緑色のランプは、バッテリーの充電が完了したことを示します。メニューバーにあるバッテリーアイコンを使うか、またはバッテリーの下部にある充電ライトを確認して、バッテリーのレベルを監視することができます (50 ページを参照)。

電源アダプタにはクリップが付属しています。電源ケーブルの長さが余った場合は、クリップを外側に引き出して、余った分のケーブルを巻き付けておくことができます。

電源アダプタをコンセントから抜くときは、コードではなくプラグを持って抜いてください。


バッテリーを調整して性能を上げる

バッテリーの持続時間を最大にするには、PowerBook を購入してから最初の 1 週間ほどの間にバッテリーを完全に使い切ってから、1 度で完全に充電します。以下の手順に従ってください：

- 1 電源アダプタを接続し、バッテリーレベル・インジケータ・ランプや画面上のメーターでバッテリーが完全に充電されたことが確認できるまで、バッテリーを充電します。電源アダプタプラグの緑色のランプは、バッテリーの充電が完了したことを示します。
- 2 電源アダプタを取り外し、PowerBook を使います。バッテリーが少なくなると、バッテリー不足を知らせる最初の警告が画面に表示されます。スリープ状態になるまで PowerBook を使い続けます。スリープ状態になれば、充電に適した状態までバッテリーが消耗しています。
- 3 電源アダプタを接続し、バッテリーを再び完全に充電します。

重要 バッテリーを調整するには、1 度だけ完全にバッテリーを空にし、再び充電します。その後は、バッテリーの充電レベルにかかわらず、電源アダプタを接続したり取り外したりすることができます。

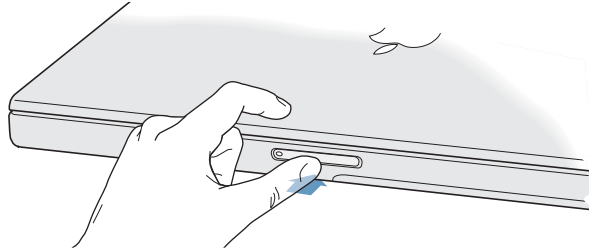
内蔵モデムを接続する

すぐにインターネットに接続する場合、電話コードの一端をコンピュータの左側面にあるモデムポート（ アイコンで示されています）に接続し、もう一端をアナログ式の電話線（多くの家庭で使用されている電話線です）に接続します。初めて PowerBook の電源を入れたときには、「設定アシスタント」が開いて、インターネットに接続するために必要な手順をすべて行うことができます。詳しくは、付録 C の「インターネットに接続する」を参照してください。

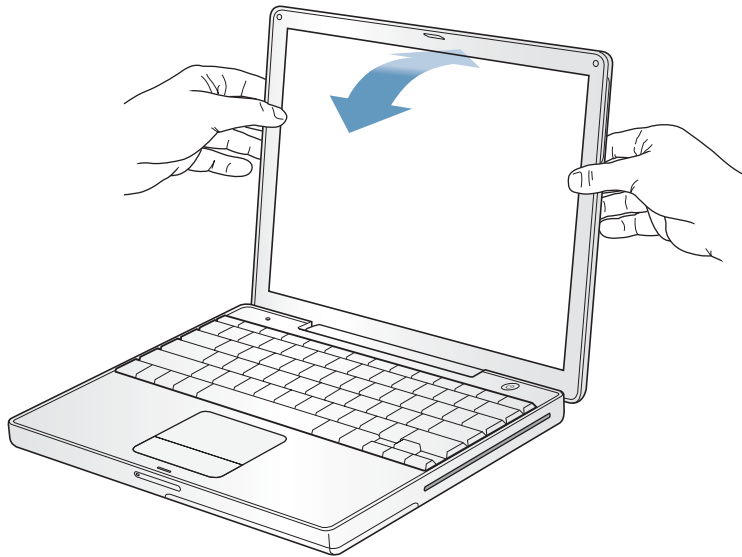
警告 モデムは、デジタル方式の電話回線（ISDN など）には接続しないでください。不適切な回線に接続すると、モデムが故障するおそれがあります。デジタル方式の電話回線かどうか分からない場合には、電話会社に連絡して確認してください。

ディスプレイを開く

- 1 ディ스플레이・リリースボタンを押します。

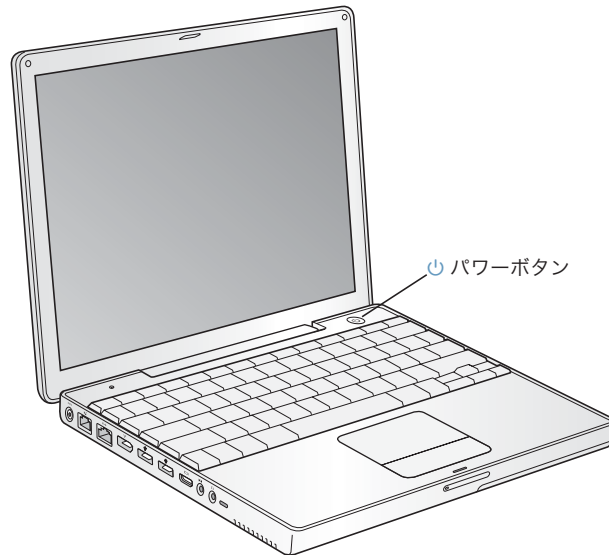


- 2 ディ스플레이を開いて、見やすい角度にセットします。



コンピュータの電源を入れる

コンピュータの電源を入れるときは、パワーボタン (⏻) を押します。コンピュータが正常に動き始めると電子音がします。コンピュータの起動が開始されるまでには少し時間がかかりますが、これは正常な動作です。パワーボタンを押すと、PowerBook は起動を開始する前に、搭載されているメモリを確認します。搭載されているメモリの容量が多いほど、起動を開始するまでにかかる時間も長くなります。



コンピュータの電源が入らないときは

パワーボタンを押しても何の変化もない。

- バッテリーが正しく取り付けられていることを確認します。バッテリーに付いている銀色のボタンを押すと、充電の状態を確認できます。50 ページの「バッテリー」を参照してください。
- バッテリーが完全に放電している可能性があります。電源アダプタがコンピュータとコンセントの両方にしっかりと接続されていることを確認してください。
- それでもコンピュータの電源が入らないときは、75 ページに記載されている対処方法を参照してください。

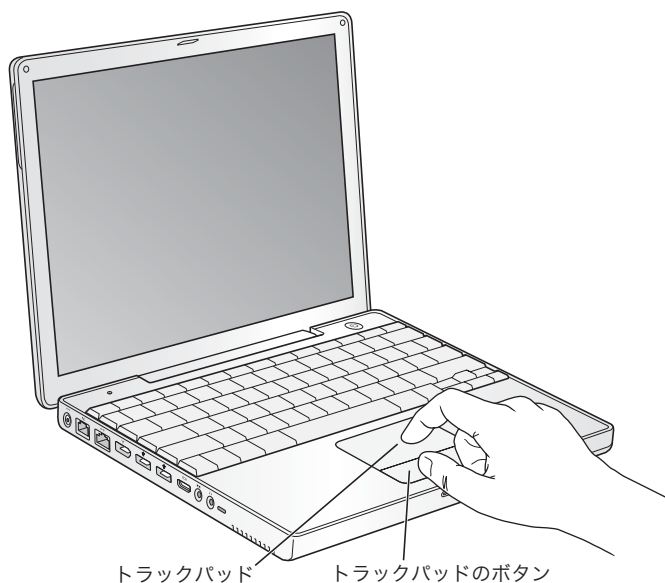
点滅する？マークが入ったディスクまたはフォルダのアイコンが表示される。

- 通常このアイコンは、コンピュータの内蔵ハードディスクやその他のディスク上にシステムソフトウェアが見つからなかったことを示します。システムソフトウェアの再インストールが必要な状態になっている可能性があります。75 ページを参照してください。

画面上の項目を動かす

画面上の項目を選択したり動かしたりするときは、PowerBook のトラックパッドを使います（デスクトップ型コンピュータのマウスと同様です）。画面上の矢印ポインタを動かすときは、指先をトラックパッドの上で動かします。画面上の項目を選択したり、クリックしたり、ダブルクリックしたりするときは、トラックパッドのボタンを押します。

参考：トラックパッドのボタンを使う代わりに、トラックパッドで直接クリックおよびダブルクリックすることができます。トラックパッドのこのオプションやその他のオプションは、「システム環境設定」の「マウス」パネルでオンにします。



トラックパッドは指先が動く速さを感知します。画面のポインタを少しだけ動かしたいときは指先をゆっくりと動かしてください。指先の動きを速めると、それに応じてポインタの移動距離も大きくなります。

トラックパッドの操作について

トラックパッドを使う際には、以下のような点に注意してください。

- 指1本で操作してください。複数の指を使用すると、ポインタを正しく操作できないことがあります。
- ペンなどは使用しないでください。
- 指先やトラックパッドをぬらさないでください。湿気や水蒸気によってトラックパッドが湿ってきたときは、トラックパッドを操作する前に、きれいな布で慎重にふいてください。
- 洗剤を使ってトラックパッドを清掃しないでください。

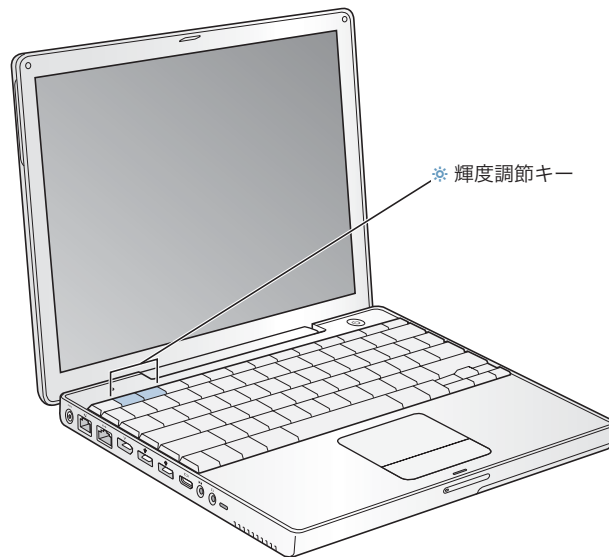
トラックパッドの使いかたを詳しく知りたいときは、「ヘルプ」メニューから「Mac ヘルプ」を選んでください。

内蔵ディスプレイを調節する

新しい PowerBook を使い始めたら、画面が見やすくなるようにディスプレイを調節する必要があるかもしれません。

ディスプレイの輝度を調節する

※ アイコンの付いたキーを使って画面の輝度を調節します。



ディスプレイの解像度を調節する

標準解像度から拡大解像度に切り替えれば、ディスプレイに表示される画像を大きくすることができます。ディスプレイの解像度を調節するときは、「システム環境設定」の「ディスプレイ」パネルを開きます。メニューバーにディスプレイのアイコンを表示して、ディスプレイの設定を変更できるようにするには、「メニューバーにディスプレイを表示する」をクリックします。

内蔵ディスプレイで表示できる解像度

お使いの PowerBook は、12.1 インチの TFT XGA ディスプレイを搭載しています。ディスプレイのデフォルトの解像度は、1024 × 768 に設定されています。

「システム環境設定」の「ディスプレイ」パネルで、800 × 600 またはそれよりも低い解像度（「拡大」解像度と呼ばれます）を選択することができます。拡大解像度に切り替えると、画面上の項目が大きくなり、より見やすくなります。ただし、拡大解像度を選択すると、ディスプレイのデフォルトの解像度のときほど画面が鮮明にならない場合があります。

次のステップ

以上で PowerBook を使用するための準備は完了です。コンピュータを初めて起動すると、「設定アシスタント」が開いて、コンピュータの一般的な設定とインターネットの設定を行うことができます。インターネットにアクセスするには、通常、インターネットサービスプロバイダ (ISP) に加入する必要があります（有料）。

さらに詳しく知りたいときは、以下を参照してください。

知りたいこと ...	参照先 ...
コンピュータの電源を切る、またはスリープ状態にする方法	15 ページの「作業を終了するときの操作」
PowerBook のソフトウェアおよびハードウェアの機能	第 2 章「このコンピュータについて」
オンスクリーンヘルプから得られる情報	37 ページの「Mac ヘルプ – Macintosh に関するすべての質問に回答」
PowerBook の独自の機能について	第 3 章「コンピュータを使用する」
メモリの取り付け方法	第 5 章「コンピュータの機能を拡張する」
PowerBook で問題が起きたときの対処法	第 6 章「トラブルへの対処方法」

作業を終了するときの操作

PowerBook を使った作業を終了するときには、以下の2つの操作のいずれかを行ってください。

PowerBook をスリープ状態にする

PowerBook を使った作業を少しの間だけ中断するときには、PowerBook をスリープ状態にしてください。コンピュータがスリープ状態のときは、すぐに元の状態に戻せます（起動の過程は省略されます）。スリープ機能が働いているときは、コンピュータの画面が暗くなり、ディスプレイ・リリースボタンの下にある白いランプが脈打つように光ります。

コンピュータをすぐにスリープ状態にするときは、次のいずれかの操作を行います：

- ディスプレイを閉じます。
- アップル (🍏) メニューで「スリープ」を選択します。

警告 スリープランプが点滅し始めるまで数秒間待ってから（スリープランプの点滅は、コンピュータがスリープ状態に入りハードディスクの回転が停止していることを示します）、PowerBook を持ち運んでください。ハードディスクが回転しているときに持ち運ぶと、ハードディスクが故障して、データが失われたり、ハードディスクから起動できなくなるおそれがあります。

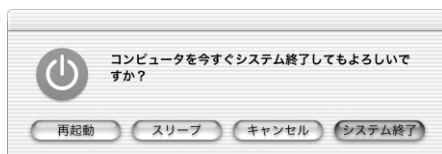
コンピュータを稼働状態に戻すときは、次のように操作します：

- ディスプレイが閉じているときは、ディスプレイを開きます。ディスプレイを開くとPowerBookのスリープ状態が自動的に解除されます。
- ディスプレイがすでに開いているときは、パワーボタン (⏻) か、キーボード上の任意のキーを押します。

PowerBook の電源を切る

PowerBook を1日以上使わない場合は、電源を切ってください。次のいずれかの操作を行います：

- アップル (🍏) メニューで「システム終了」を選択します。
- パワーボタンを押し、画面に表示されるダイアログで「システム終了」をクリックします。



- PowerBook を長期にわたって保管するときは、81 ページの「PowerBook を保管する」に説明されている手順を参照して、PowerBook のバッテリーの電力が完全に消費してしまうのを防いでください。

このコンピュータについて

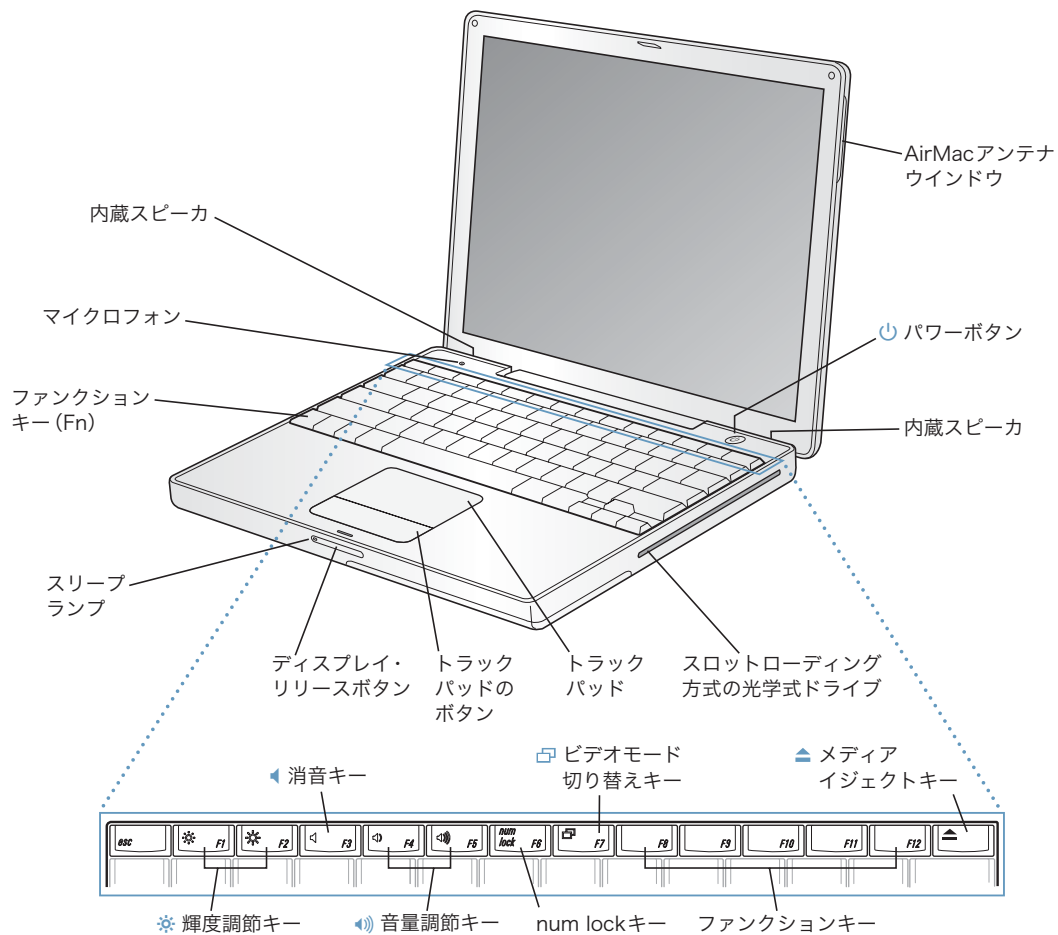
PowerBook ですぐに何かを試してみたい方は、この章を参照してください。ここでは、お使いのコンピュータのハードウェアやソフトウェアに関する機能の概要を説明し、Mac オーナーが利用できる独自のインターネットサービスについて紹介します。

お使いの PowerBook は、優れた機能を備えたノートブック型コンピュータです。本製品には、PowerPC G4 プロセッサ、FireWire、USB ポート、Bluetooth ワイヤレス接続、オプションの AirMac ワイヤレスインターネット接続およびネットワーク接続などの、最新のコンピュータテクノロジーが搭載されています。このハードウェアには Mac OS X オペレーティングシステムが付属しています。Mac OS X オペレーティングシステムを使って、インターネットを使ってビデオを観たり、情報を検索したり、ショッピングをしたり、ソフトウェアを自動アップデートしたりすることができます。

お使いの PowerBook には、メールの送信、ネットサーフィン、チャット、音楽やデジタル写真の整理、ムービーの作成などを行うことができる、さまざまなソフトウェアアプリケーションが付属しています。この章では、これらのアプリケーションについて紹介し、これらのアプリケーションの使いかたについての詳しい情報が記載されている場所を示します。さらに詳しく知りたいときは、以下をお読みください。

参考：アップルでは、システムソフトウェア、アプリケーション、インターネットサイトを頻繁に更新し、新しいバージョンをリリースしています。そのため、このマニュアルに示されている画像は、実際の画面に表示されるものと多少異なる場合があります。

PowerBook の基本機能



輝度調節キー

PowerBook ディスプレイの輝度を調節します。

音量調節キー

内蔵スピーカやサウンド出力ポートに接続した装置から出力される音声の音量を調節します。

num lock キー

PowerBook のキーボードに組み込まれているテンキー機能を使用可能にします。テンキーがロックされている場合は、キーボードロックのランプが緑色に点灯します。

ビデオモード切り替えキー

デュアルディスプレイモードとビデオミラーリングモードを切り替えます。

メディアイジェクトキー

CDまたはDVD ディスクを取り出します。デスクトップにあるディスクのアイコンを「ゴミ箱」にドラッグして、ディスクを取り出すこともできます。

内蔵スピーカ (× 2)

音楽や、ムービー、ゲーム、マルチメディアなどの音を聴くことができます。

マイク

内蔵マイクロフォンを利用して、PowerBook のハードディスクに直接音声を録音することができます。

ファンクション (Fn) キー

このキーを押しているときは、ファンクションキー (F1 ~ F12) を使用できます。

スリープランプ

PowerBook がスリープ状態のとき脈打つように白く光ります。

ディスプレイ・リリースボタン

このボタンを押して、PowerBook のディスプレイを開きます。

トラックパッド

PowerBook の画面に表示されるポインタを動かすときに使います。

スロットローディングの光学式ドライブ

光学式ドライブでは、CD-ROM ディスク、フォト CD、一般的な音楽 CD、DVD-ROM ディスクと DVD-R ディスク、DVD ムービー、およびその他のメディアを読み取ることができます。また、音楽、書類、その他のデジタル形式のファイルを CD-R ディスクおよび CD-RW ディスクに書き込むこともできます。SuperDrive が搭載されている場合は、DVD-R ディスクに書き込むこともできます。

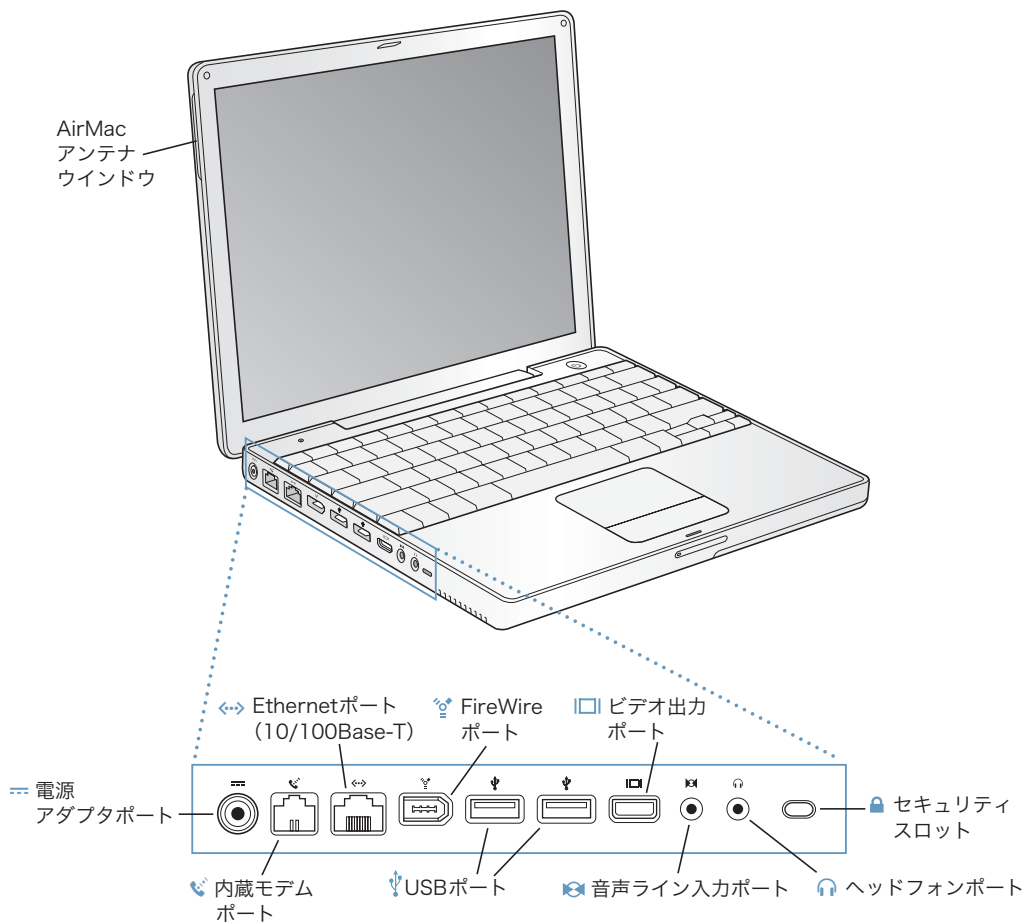
パワーボタン


PowerBook の電源を入れるときや切るとき、スリープ状態にするときに使います。

AirMac アンテナウインドウ


オプションの AirMac Extreme カードを使って、インターネットにワイヤレス接続することができます。

PowerBook のその他の機能




 **電源アダプタポート**

付属の電源アダプタを差し込んで、PowerBook のバッテリーを充電するときに使います。

 **内蔵モデムポート**


一般的な電話回線を内蔵モデムに直接接続することができます。

 **Ethernet ポート (10/100Base-T)**

10/100Base-T の高速な Ethernet ネットワークに接続したり、ほかのコンピュータに接続してファイルを転送したりできます。Ethernet ポートの自動検索機能によって、ほかの Ethernet 装置が自動的に検出されます。ほかの Ethernet 装置に接続するために、Ethernet クロスケーブルは必要ありません。

 **FireWire ポート**


デジタルビデオカメラ、プリンタ、外部記憶装置などの装置を高速なデータ転送スピードで接続することができます。

 **USB (Universal Serial Bus) ポート × 2**


プリンタ、外部記憶装置、デジタルカメラ、モデム、キーボード、ジョイスティックなどの外部装置を PowerBook に接続できます。

 **ビデオ出力ポート**

付属の VGA アダプタを使って、VGA コネクタを使用する外部のモニターや映像機器を接続することができます。付属の Apple ビデオアダプタを使って、S ビデオコネクタまたはコンポジットコネクタを使用するテレビ、ビデオデッキ、その他のビデオ機器を PowerBook に接続することができます。

 **音声ライン入力ポート**

ラインレベルのマイクロフォンやその他のオーディオ機器を接続することができます。

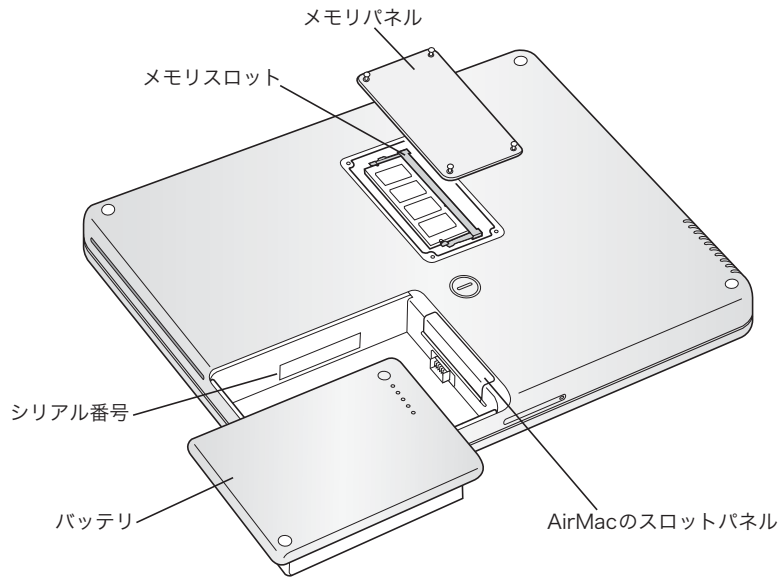
 **ヘッドフォン/音声ライン出力ポート**

外部スピーカやヘッドフォンなど音声出力用の装置を接続することができます。

セキュリティスロット

盗難防止用のケーブル (別売) を接続することができます。

PowerBook の内部について



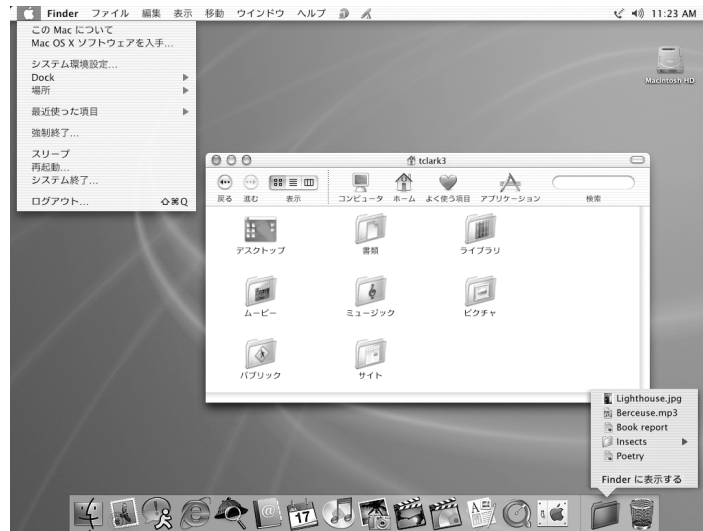
メモリスロット

お使いの PowerBook には、256 MB（メガバイト）のメモリが搭載されています。ロジックボードに1つの128 MB メモリモジュールが取り付けられ、メモリスロットにも128 MBのメモリモジュールが1つ取り付けられています。お使いの PowerBook に取り付けることができるメモリの最大容量は640 MBです。この場合、スロットに512 MBのメモリモジュールを取り付けます。詳しくは63ページの「メモリを増設する」を参照してください。

AirMac Extreme カード

コンピュータに AirMac Extreme カードを取り付けると、ワイヤレスネットワーク接続ができるようになります。お使いの PowerBook には、AirMac Extreme カードがあらかじめ取り付けられていることもあります。取り付けられていない場合は、AirMac Extreme カードを購入して取り付けることができます。69ページの「AirMac Extreme カードを取り付ける」を参照してください。

Mac OS X について



この機能でできること

Mac OS X は、お使いのコンピュータに、強力でエレガントなユーザインタフェースを提供します。Mac OS X を使用すると、アプリケーションに必要なメモリの量を気にしたり、1 つのアプリケーションに問題が生じた場合にコンピュータを再起動したりする必要がありません。Mac OS X ソフトウェアの使用に加えて、Classic 環境を使用すれば、Mac OS X 上で Mac OS 9 用のソフトウェアを使用できます。Classic 環境について詳しくは、61 ページの第 4 章「オペレーティングシステムで作業する」を参照してください。Mac OS X は、Java と UNIX ベースのソフトウェアもサポートしています。

「システム環境設定」は、お使いのコンピュータのすべての設定のコマンドセンターとなるもので、デスクトップの外観の変更からネットワークアクセス情報の設定まで行うことができます。「Finder」および「Dock」により、お使いのコンピュータおよびネットワーク上のフォルダ、アプリケーション、書類およびその他の項目に簡単にアクセスできます。

さらに詳しく知りたいときは

- Mac OS X 環境をカスタマイズする方法や Mac OS X の使いかたについて詳しくは、お使いのコンピュータのハードディスクの「書類/Mac についての情報」に収録されている「Welcome to Mac OS X」を参照してください。
- Mac OS X に関する最新情報は、Mac OS の Web サイト (www.apple.co.jp/macOS) を参照してください。

.Mac—Mac ユーザのためのインターネットサービス



この機能でできること

「.Mac」は、Mac ユーザのためのアップルによる新しいインターネットサービスです。「.Mac」アカウントを使って、メールやグリーティングカードを送ったり、写真やムービーを共有したりすることができます。重要なファイルをバックアップしたり、自分の Web サイトを作ったりすることもできます。「.Mac」を使用するには、インターネットサービスプロバイダ（ISP）のアカウントを持っている必要があります。「.Mac」のサービスは、お住まいの地域によってはご利用いただけないことがあります。

さらに詳しく知りたいときは

- www.mac.com/japan を参照してください。

サインアップするには

- 「システム環境設定」を開いて、「インターネット」をクリックします。「.Mac」をクリックしてから、「サインアップ」をクリックします。

Sherlock— インターネット検索の探偵

Sherlock - Yellow Pages

Channels Internet Yellow Pages Movies Dictionary Translation Pictures eBay AppleCare Flights Stocks

Business Name City & State or Zip
library San Francisco, CA

Name	Phone	Address	Distance (Miles)
Library of African Cinema	(415) 621-6198	149 9th St, San Francisco, CA 94103	0.25
City & County Law Library	(415) 554-4247	1390 Market St # 500, San Francisco, CA 94102	0.27
Holt Labor Library	(415) 241-1370	50 Fell St, San Francisco, CA 94102	0.28
New College of California Libr	(415) 241-1376	50 Fell St, San Francisco, CA 94102	0.28
Project Read--Main Library	(415) 557-4388	100 Larkin St, San Francisco, CA 94102	0.41
San Francisco Public Library	(415) 557-4400	100 Larkin St, San Francisco, CA 94102	0.41

Driving Directions From: work Print

Directions	Miles
0 Head SOUTH on INFINITE LP	0.08
1 TURN RIGHT onto MARIANI AV	0.11
2 TURN LEFT onto N DE ANZA BLVD	0.51
3 TURN RIGHT onto STEVENS CREEK BLVD	0.90
4 BEAR RIGHT onto UNNAMED ROAD to I 280 (1.36
5 BEAR LEFT onto I 280 (NORTH)	30.26
6 BEAR RIGHT onto I 380 (EAST)	1.58
7 CONTINUE onto UNNAMED ROAD to US 101	0.67
8 FOLLOW as road goes into US 101 (NORTH)	6.39
9 FOLLOW US 101 (NORTH) as it BEARS LEFT	2.90
10 FOLLOW US 101 (NORTH) as it BEARS LEFT	1.48
11 TURN RIGHT onto GROVE ST	0.18

Content provided by Switchboard infoUSA.com Map by Maps On Us, Data ©1984-2002 Tele Atlas North America, Inc.

この機能でできること

「Sherlock」は、インターネットで検索を行う探偵の役や、個人用のショッピング係として活躍します。人物、ニュース、その他どんなことでも簡単に検索する方法を提供します。本やCDのショッピング、オークションサイトの検索、最適な価格の検索、さらに手に入る品物のチェックもできます。お住まいの地域の映画館の上映時間を調べたり、映画の予告編を見たり、チケットを購入したりできます。フライト情報、株式相場、電話番号、ドライブの道案内を検索できます。また、用語の定義やニュース、翻訳などにアクセスできます。

さらに詳しく知りたいときは

- 「Sherlock」を開き、「ヘルプ」メニューから「Sherlock ヘルプ」を選択します。
- www.apple.co.jp/sherlock を参照してください。

参考：「Sherlock」でご利用いただける機能やコンテンツは予告なく変更または中止されることがあります。

Apple.com — インターネット体験の出発点



この機能でできること

アップル製品に関する情報や、サービス、サポート、および技術情報を探す場合は、アップルの Web サイトでお使いのコンピュータについてのほとんどの情報を入手できます。Apple.com の機能やコンテンツは、お住まいの地域によってはご利用いただけません。

さらに詳しく知りたいときは

詳しくは以下の Web サイトを参照してください。

- Apple Store : www.apple.com/japanstore
- Apple サポート : www.apple.co.jp/support
- Macintosh 製品ガイド : www.apple.co.jp/guide
- Mac OS X : www.apple.co.jp/macosx

QuickTime— インターネット上のオーディオ/ビデオ



この機能でできること

「QuickTime」を使用すると、お使いの Mac でビデオや音楽のファイルを再生できるほか、ライブや録画で送られてくるインターネット放送を見ることができます。

使用するには

- 1 インターネットに接続します。
- 2 「QuickTime Player」を開きます。
- 3 「QuickTime」ボタンをクリックし、チャンネルを選択すると、ハードディスクにファイルを保存することなく、インターネットを通じて最新の映像、音楽、および情報を入手できます。

さらに詳しく知りたいときは

インターネットビデオは、「QuickTime」を使用してできることの1つに過ぎません。さらに詳しく知りたいときは：

- 「QuickTime」を開き、「ヘルプ」メニューから「QuickTime ヘルプ」を選択します。
- www.apple.co.jp/quicktime を参照してください。

iMovie— デジタルムービーの作成と編集



この機能でできること

「iMovie」は、簡単にお使いいただけるデジタルビデオ編集プログラムです。「iMovie」とDV カメラを使えば、自分でムービーの作成や編集ができます。カメラからの映像を取り込んで、クリップの編集やトランジション、タイトル、音響効果、音楽の追加ができます。

さらに詳しく知りたいときは

- 「iMovie」を開き、「ヘルプ」メニューから「iMovie ヘルプ」を選択します。
- 「iMovie」のアップデート、追加プラグイン、デジタルビデオ（DV）カメラの互換性など、「iMovie」に関する最新情報は、「iMovie」の Web サイト（www.apple.co.jp/imovie）を参照してください。

iPhoto— デジタル写真の整理、編集、および共有



この機能でできること

「iPhoto」では、デジタルカメラから写真を取り込み、アルバムに整理して、編集や加工を行うことができます。さらに、完成した写真をさまざまな方法で共有できます。「iPhoto」とデジタル写真を使えば、フィルムカメラにはない楽しみ方を発見できます。コンピュータのUSBポートにデジタルカメラを接続するだけで、「iPhoto」が開き、写真が取り込まれてカタログ化され、保管されて、画面に表示されます。

さらに詳しく知りたいときは

- 「iPhoto」を開き、「ヘルプ」メニューから「iPhoto ヘルプ」を選択します。
- 「iPhoto」のWebサイト（www.apple.co.jp/iphoto）を参照してください。

iTunes— お使いの Mac と iPod にデジタル音楽を



この機能でできること

「iTunes」を使えば、音楽 CD から曲を MP3 ファイルとして読み込んで、プレイリストを作成したり、音楽を iPod やその他のポータブル MP3 プレーヤに転送したりできます。また、インターネットラジオ局の放送を聴いたりすることもできます。「iTunes」を使って、好みに合わせて音楽の順番を変えたり、自分用のオーディオ CD を作ることができます。

さらに詳しく知りたいときは

- 「iTunes」を開き、「ヘルプ」メニューから「iTunes ヘルプ」を選択します。
- 「iTunes」の Web サイト (www.apple.co.jp/itunes) を参照してください。

iDVD— 独自の DVD の作成



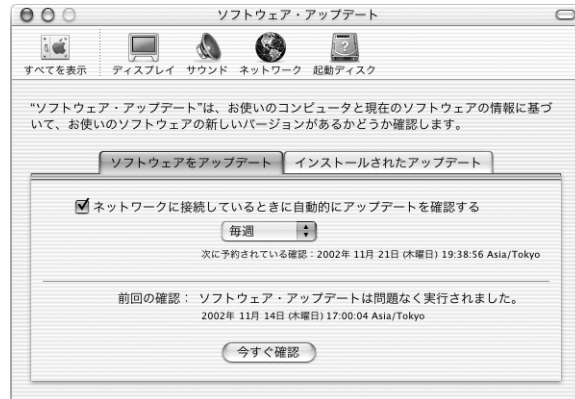
この機能でできること

お使いの PowerBook に SuperDrive が搭載されている場合、「iDVD」を使って DVD を空の DVD-R ディスクに記録することができます。独自の「iMovie」、デジタル写真、およびその他の「QuickTime」メディアファイルを DVD に変換すれば、ほとんどの標準的な DVD プレーヤーで再生できます。

さらに詳しく知りたいときは

- 「iDVD」を開き、「ヘルプ」メニューから「iDVD ヘルプ」を選択します。
- 「iDVD」の Web サイト (www.apple.co.jp/idvd) を参照してください。

自動アップデート —Mac を最新の状態にする



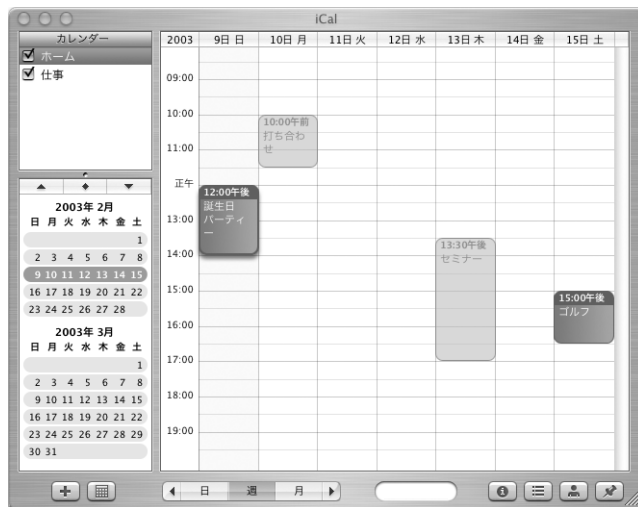
この機能でできること

インターネットに接続し、「ソフトウェア・アップデート」を使って、最新のソフトウェアバージョン、ドライバ、およびその他の強化機能をアップルから自動的にダウンロードしてインストールします。「ソフトウェア・アップデート」は、アップルのインターネットサーバを即座に確認して、お使いのコンピュータで使用できるアップデートがあるかどうかを確認します。お使いの Mac が定期的にアップルのサーバをチェックして、アップデートされたソフトウェアをダウンロードしてインストールするように設定することもできます。

さらに詳しく知りたいときは

- 詳しくは、「Mac ヘルプ」で「ソフトウェア・アップデート」を検索してください。
- Mac OS に関する最新情報は、Mac OS の Web サイト (www.apple.co.jp/macOS) を参照してください。

iCalー 自分用のカレンダーを整理して共有する



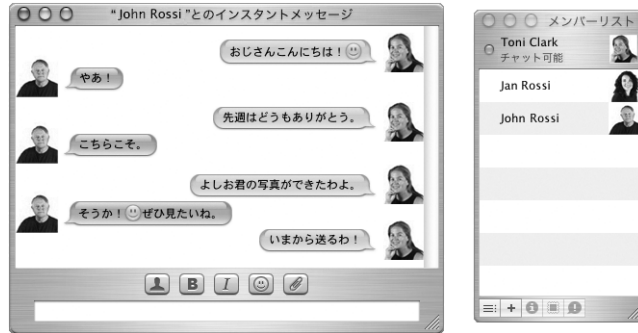
この機能でできること

「iCal」は、個人用のカレンダーアプリケーションで、約束や予定を管理するために利用できます。複数のカレンダーを同時に表示したり、「Mac」アカウントを使って、同僚、家族、友人に自分のカレンダーをオンラインで公開したりできます。仕事のスケジュールや、家族や学校の行事などを専用のカレンダーに登録して管理することもできます。

さらに詳しく知りたいときは

- 「iCal」を開き、「ヘルプ」メニューから「iCal ヘルプ」を選択します。
- 「iCal」の Web サイト (www.apple.co.jp/ical) を参照してください。

iChat— インターネット上での友人とのチャット



この機能でできること

インターネットに接続している場合は、「iChat」を使って、オンラインでの文字の会話をリアルタイムに楽しめます。ほかの「iChat」ユーザや AIM (AOL インスタントメッセージャー) を使用している友人とチャットできます。また、チャットしながら、写真や書類などのファイルを簡単に転送することができます。「iChat」には、「.Mac」ユーザ名または AIM スクリーン名を使ってログオンします。

さらに詳しく知りたいときは

- 「iChat」を開き、「ヘルプ」メニューから「iChat ヘルプ」を選択します。
- 「iChat」の Web サイト (www.apple.co.jp/macosx/jaguar/ichat.html) を参照してください。

アカウント —1 台の Mac を複数の利用者と使用する



この機能でできること

個々のユーザアカウントにログインすることによって、複数のユーザが1台のコンピュータを共有することができます。ユーザは、ブックマークやデスクトップビューなど、独自にカスタマイズされた設定を選択し、「ホーム」と呼ばれる自分専用のファイル保存の場所にアクセスすることができます。コンピュータを共有しているユーザも共通の「共有」フォルダにアクセスできます。

コンピュータで最初に作成されたユーザアカウントは、管理者に指定されます。管理者は、特別な権限を持つユーザです。新しいユーザにコンピュータへのアクセス権を与えたり、ソフトウェアをインストールをしたり、コンピュータの一般設定を変更したりする権限を持っています。

参考：管理者パスワードを忘れた場合は、コンピュータに付属のソフトウェアインストーラディスクを使って、パスワードをリセットできます。ソフトウェアインストーラディスクから起動し、「インストーラ」メニューから「パスワードをリセット」を選びます。ソフトウェアインストーラディスクを使うと、ユーザはコンピュータに無制限にアクセスできるので、ソフトウェアインストーラディスクは安全な場所に保管しておく必要があります。

さらに詳しく知りたいときは

Mac OS X のユーザアカウントの設定について詳しくは、「Mac ヘルプ」で「ユーザ」を検索してください。

Mac ヘルプ – Macintosh に関するすべての質問に回答



使用するには

- 1 「Dock」で「Finder」アイコンをクリックします。
- 2 「ヘルプ」メニューから「Mac ヘルプ」を選びます（「ヘルプ」メニューをクリックして「Mac ヘルプ」を選びます）。
- 3 質問を入力し、キーボードの return キーを押します。
- 4 ヘルプトピックのリストにある項目をダブルクリックします。

コンピュータを使用する

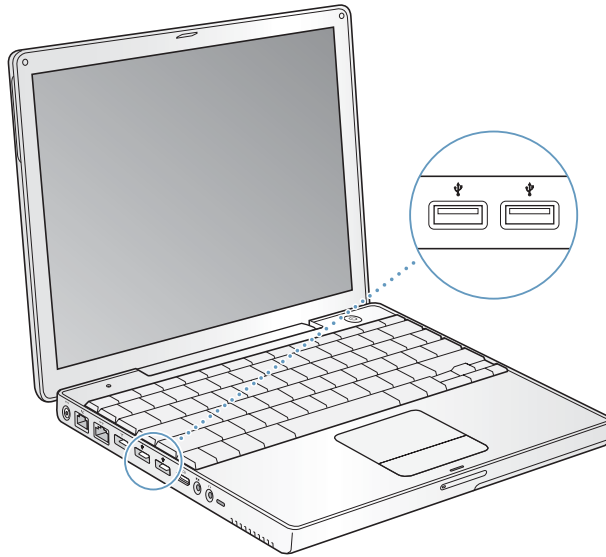
お使いの PowerBook には、多くの機能が搭載されています。また、必要に応じてコンピュータに機能を追加できる拡張性も備えています。以下のような機能があります。

- プリンタ、スキャナ、ジョイスティック、キーボード、デジタルカメラ、フロッピーディスクドライブなどの外部装置を PowerBook に接続するための USB (Universal Serial Bus)。
- デジタルビデオカメラや外部ハードドライブなどの装置を高速なデータ転送で接続するための FireWire。
- 56K モデム、10/100Base-T Ethernet、Bluetooth ワイヤレス接続、およびオプションの AirMac によるワイヤレスインターネット接続およびネットワーク接続などの最新の通信技術。
- PowerBook に外部モニタ、プロジェクタ、または数多くのデジタルフラットパネルディスプレイを接続し、ビデオミラーリングモードおよびデュアルディスプレイモード (デスクトップを拡張) のサポートを可能にする、VGA 出力と付属の Apple VGA アダプタ。コンポジットまたは S ビデオをサポートするテレビで DVD ディスクを再生するための PowerBook 内蔵のビデオ出力ポートと、付属の Apple ビデオアダプタ。
- 長時間持続するバッテリー、オーディオのライン入力ポート、ヘッドフォンポートなど。

PowerBook の機能について知りたいときは、まずこの章を参照してください。「Mac ヘルプ」(37 ページを参照) やインターネットにあるアップルの多くの Web サイトで、さらに詳しい情報を参照することもできます。

USB (Universal Serial Bus)

お使いの PowerBook には USB ポート (♁) が2基装備されています。プリンタ、スキャナ、デジタルカメラ、ゲームパッド、ジョイスティック、キーボード、フロッピーディスクドライブなどのさまざまな外部装置を接続するときに使用できます。USBを使うと、外部装置を簡単に接続することができます。USB装置の多くは、コンピュータの動作中に接続や取り外しができます。装置を接続するだけで、すぐに使うことができます。コンピュータを再起動したり、設定し直したりする必要はありません。



USB 装置を使用する

コンピュータでUSB装置を使用するときは、その装置をコンピュータに接続するだけです。新しい装置を接続すると、コンピュータは適切なソフトウェアを自動的に読み込みます。

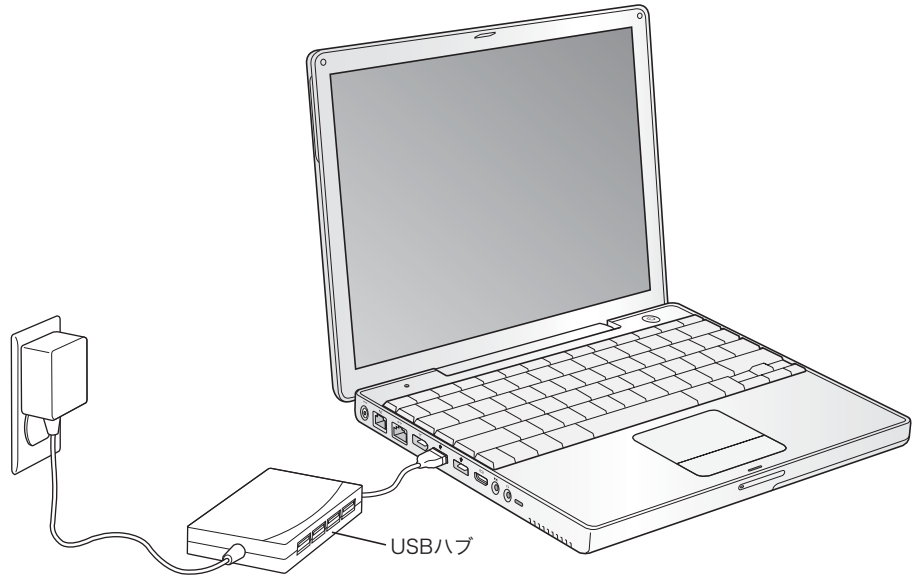
参考：アップル製のコンピュータには、USB装置を使用するためのソフトウェアがあらかじめインストールされています。USB装置を接続しても、PowerBookが適切なソフトウェアを検出できない場合は、装置に付属のソフトウェアをインストールするか、画面のメッセージに従ってインターネットから適切なソフトウェアをダウンロードしてからインストールしてください。

USB 装置とバッテリー電源

お求めの PowerBook では、専用の電源アダプタではなく、USBポートから供給される電力を利用するUSB装置（ジョイスティックやキーボードなど）を利用できます。ただし、このような方式のUSB装置を利用すると、PowerBookのバッテリーの電力が早く消費されてしまいます。装置を長期間接続したままにする場合は、PowerBookを電源アダプタに接続することをお勧めします。

複数の USB 装置を同時に使用する

同時に3台以上のUSB装置を使いたいときは、USBハブを購入してください。USBハブをコンピュータの空いているUSBポートに接続すれば、追加のUSBポート（通常は、4基または7基です）を利用できるようになります。ほとんどのUSBハブは、電源アダプタを独自に備えており、コンセントに接続する必要があります。



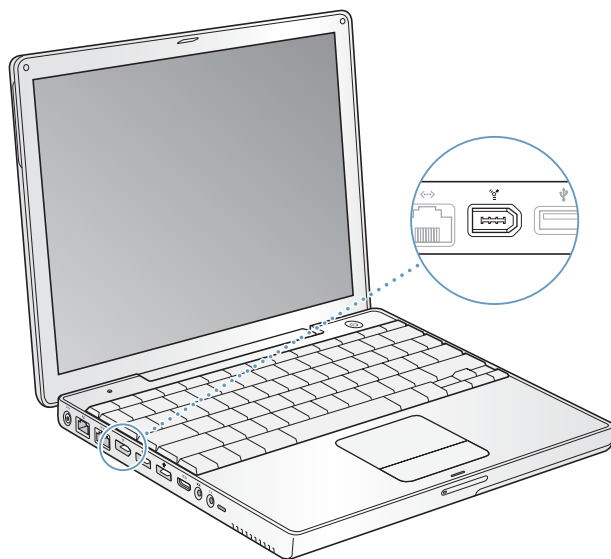
USBについてさらに詳しく知りたいときは

USBについて詳しく知りたいときは、「Mac ヘルプ」（37ページを参照）を利用します。「ヘルプ」メニューから「Mac ヘルプ」を選び、「USB」で検索してください。アップルのUSBのWebサイトでも情報を参照できます：www.apple.co.jp/usb

お使いのコンピュータで利用できるUSB装置について知りたいときは、「Macintosh 製品ガイド」を参照してください：www.apple.co.jp/guide

FireWire

お使いのコンピュータには FireWire ポート (🔗) が 1 基装備されています。FireWire を使うと、デジタルビデオ (DV) カメラ、プリンタ、スキャナ、ハードディスクなど、高速なデータ転送をする外部装置を簡単に接続したり、取り外したりすることができます。FireWire 装置の接続や取り外しをするときにコンピュータを再起動する必要はありません。



FireWire で利用できる機能をいくつか紹介します。

- デジタルビデオカメラを接続し、「iMovie」や「Final Cut Pro」などのビデオ編集用ソフトウェアを使って、高品質のビデオをコンピュータに直接取り込み、転送および編集することができます。
- 外部 FireWire ハードディスクドライブを接続して、データのバックアップやファイルの転送に使用できます。ドライブを PowerBook に接続すると、FireWire ハードディスクのアイコンがデスクトップに表示されます。
- 外部 FireWire ハードディスクから起動できます。外部 FireWire ディスク (有効なオペレーティングシステムがインストールされているもの) を接続してから、「システム環境設定」の「起動ディスク」パネルを開いて、FireWire ディスクをクリックします。コンピュータを再起動します。

FireWire 装置を使用する

コンピュータに FireWire 装置を接続するときは、装置をコンピュータに接続して、装置に付属のソフトウェアをインストールします。新しい装置を接続すると、コンピュータは自動的に認識します。

FireWire 装置とバッテリー電源

お使いの PowerBook では、専用の電源アダプタではなく、FireWire ポートから供給される電力を利用する FireWire 装置（一部の外部ハードドライブなど）を利用できます。ただし、このような方式の FireWire 装置を利用すると、PowerBook のバッテリーの電力が早くなくなってしまう可能性があります。装置を長期間接続したままにする場合は、PowerBook を電源アダプタに接続することをお勧めします。

参考：FireWire ポートは、FireWire 装置に（最大 7 ワットの）電力を供給できる設計になっています。装置を 2 台以上接続するときには、それらの装置を相互に接続して、コンピュータの FireWire ポートに「デジチェーン」で接続することもできます。その場合、コンピュータから供給される電力を利用するのは 1 台の装置だけにしてください。デジチェーンで接続されているそれ以外の装置には、専用の電源アダプタから電力を供給するようにしてください。コンピュータから供給される電力を利用する FireWire 装置を 2 台以上接続すると、問題が発生する場合があります。問題が発生した場合は、コンピュータをシステム終了して、FireWire 装置を取り外し、コンピュータを再起動してください。

FireWire ターゲットディスクモード

PowerBook と FireWire に対応したほかのコンピュータとの間でファイルを転送する場合や、コンピュータの起動に関する問題が発生している場合は、FireWire ターゲットディスクモードという機能を使ってほかのコンピュータに接続することができます。

PowerBook を FireWire ターゲットディスクモードで接続するときは、以下の手順に従ってください。

- 1 PowerBook の電源が切れていることを確認してください。
- 2 両端に標準的な 6 ピンのコネクタが付いている FireWire ケーブルを使って、お使いの PowerBook を FireWire ポートを備えたほかのコンピュータに接続します。
- 3 PowerBook を起動し、すぐに T キーを押したままにします。PowerBook ディスプレイには、FireWire ログが表示されます。ほかのコンピュータのディスプレイには、PowerBook の内蔵ハードディスクのアイコン、および PowerBook の光学式ドライブ内の CD または DVD ディスクのアイコンが表示されます。
- 4 ファイルを転送し終わったら、PowerBook のハードディスクのアイコンおよび CD または DVD ディスクのアイコンを「ゴミ箱」にドラッグします。
- 5 PowerBook のパワーボタンを押して電源を切ってから、FireWire ケーブルを取り外します。

FireWire についてさらに詳しく知りたいときは

FireWire について詳しく知りたいときは、「Mac ヘルプ」（37 ページを参照）を利用します。「ヘルプ」メニューから「Mac ヘルプ」を選び「FireWire」で検索してください。アップルの Firewire の Web サイトでも情報を参照できます：www.apple.co.jp/firewire

Bluetooth 装置を使用する

Bluetooth テクノロジーを利用すると、これまでのように装置をケーブルで接続する必要がなくなります。Bluetooth 対応の装置は、10 m の範囲でワイヤレス接続することができます。

Bluetooth 装置：

- コンピュータ（Macintosh 同士）
- 携帯電話
- 周辺装置（キーボード、マウスなど）
- PDA（携帯情報端末）

Bluetooth によって、次のような操作が可能です：

- ハンドヘルド PDA と通信する。ケーブルを使わずに HotSync 操作を実行したり、名刺やカレンダーのイベントなどを同僚の PDA に直接送信したりできます。
- コンピュータ同士でファイルを転送する。転送ユーティリティを使って、Mac から PC に転送することもできます。ただし、サイズの小さなファイル以外は、AirMac ワイヤレスネットワークを使って転送することをお勧めします。
- PowerBook を使って、お使いの Bluetooth 対応携帯電話と通信する。お使いのコンピュータで、ボイスコールに応答することもできます。電話がモデムとして動作して最大 56 Kbps の速度でワイヤレスサービスプロバイダに接続できるので、携帯電話を使ってインターネットにアクセスすることができます。

お使いの PowerBook に Bluetooth がインストールされていない場合は、Bluetooth ソフトウェアをダウンロードし、他社製の外部 Bluetooth USB アダプタをコンピュータの空いている USB ポートに接続することができます。

Bluetooth についてさらに詳しく知りたいときは

「Bluetooth ファイル交換」アプリケーション（「ユーティリティ」フォルダにあります）を起動し、「ヘルプ」メニューから「Bluetooth ヘルプ」を選んで、Bluetooth の使いかたに関する情報を参照できます。アップルの Bluetooth の Web サイトでも情報を参照できます：www.apple.co.jp/bluetooth

お使いの PowerBook G4 に Bluetooth モジュールがインストールされていない場合は、Bluetooth ソフトウェアをダウンロードし、他社製の Bluetooth USB アダプタをコンピュータの空いている USB ポートに接続することができます。

重要 ユーザが Bluetooth モジュールをインストールすることはできません。お求めの PowerBook G4 に Bluetooth モジュールがインストールされていない場合は、他社製の Bluetooth USB アダプタをご購入ください。

AirMac によるワイヤレスインターネット接続とネットワーク機能

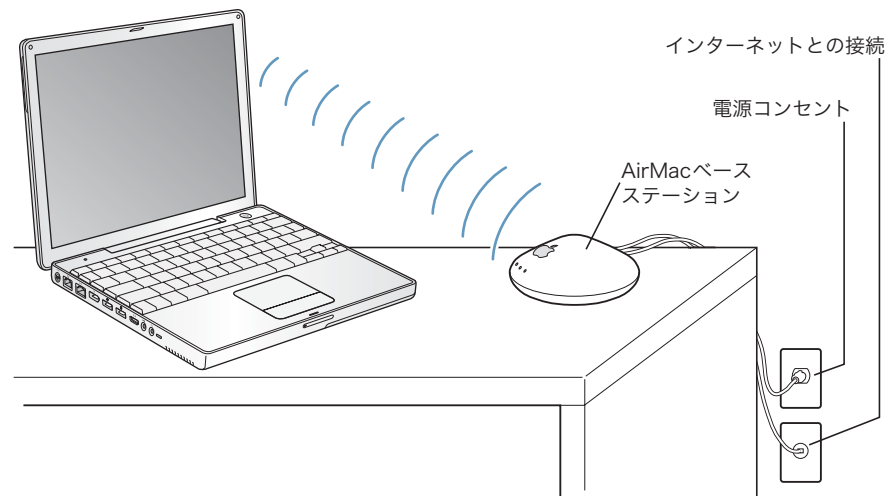
お使いの PowerBook は AirMac に対応しています。コンピュータにはアンテナが内蔵されており、PowerBook と一緒に AirMac Extreme カードを購入した場合は、カードはすでに取り付けられています。AirMac Extreme カードが搭載されていないコンピュータにカードを取り付ける方法について詳しくは、69 ページを参照してください。

AirMac は、家庭、オフィス、教室などでインターネットにワイヤレスで接続できる簡単で低コストな手段です。従来のようにケーブルを使う代わりに、AirMac ではワイヤレス LAN (Local Area Network) のテクノロジーを使った、複数のコンピュータ間でのワイヤレス通信が可能です。ワイヤレスネットワークを介することによって、インターネットに接続できるように設定したり、ファイルを転送したり、複数のプレイヤーが参加するゲームで遊んだりすることなどができます。

参考：ワイヤレスによるインターネット接続には、AirMac Extreme カード、AirMac ベースステーション、およびインターネット接続サービスへの加入（別途費用が必要になる場合があります）が必要です。インターネットサービスプロバイダの中には、現在 AirMac と互換性がないものもあります。また、通信範囲は建物の条件によって変わります。

AirMac がワイヤレスインターネット接続を提供するしくみ

AirMac では、ベースステーションと呼ばれる装置との間でワイヤレス通信が行われます。ベースステーションは物理的にインターネットに接続されます。AirMac テクノロジーは、コードレス電話の仕組みに似ています。コンピュータに取り付けた AirMac Extreme カードは、電話回線、DSL モデム、またはケーブルモデムに接続されたベースステーションとの間でワイヤレス接続を行います。



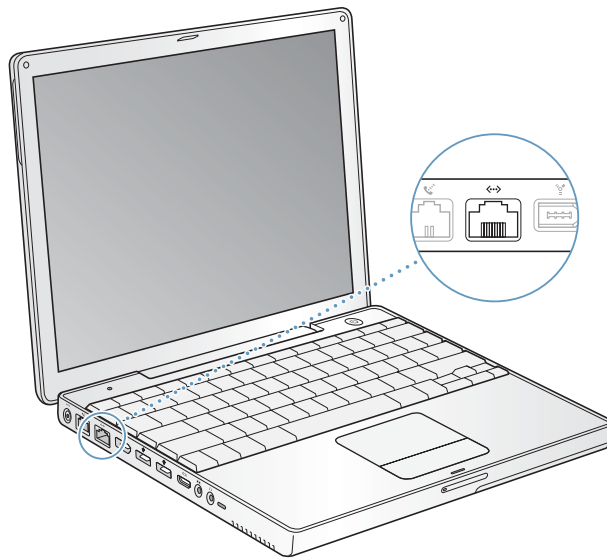
AirMac についてさらに詳しく知りたいときは

AirMac ベースステーションを購入するときは、アップル正規販売代理店または Apple Store を利用してください：www.apple.com/japanstore

AirMac について詳しく知りたいときは、「Mac ヘルプ」を利用します。「ヘルプ」メニューから「AirMac ヘルプ」をクリックします。アップルの AirMac の Web サイト (www.apple.co.jp/airmac) またはサポートページ (AppleCare サポート：www.apple.co.jp/support) で情報を見ることがもできます。

Ethernet ポート (10/100Base-T)

お使いのコンピュータには、転送速度が 10/100 Mbps (メガビット/秒) の Base-T (ツイストペア) Ethernet のネットワーク機能が搭載されています。これを利用して、ネットワークに接続したり、ケーブルモデムや DSL モデムに接続したりすることができます。



ネットワークに接続すれば、ほかのコンピュータを利用することができます。情報をほかのコンピュータに保存したり、ほかのコンピュータに保存されている情報を入手したり、ネットワークに接続されているプリンタやモデムを利用したり、メールを送受信したり、インターネットに接続したりすることができます。また、Ethernet を利用すれば、2 台のコンピュータでファイルを共有したり、小規模のネットワークを構築したりすることもできます。PowerBook に装備されている Ethernet ポートでは、Ethernet を介して接続されているほかの装置を自動的に検出します。Ethernet を介してほかの装置に接続するときに、Ethernet クロスケーブルは必要ありません。

- 10 BASE-T の Ethernet ネットワークに接続するには、2 対 Ethernet ケーブル (カテゴリ 3) を使ってください。
- 100 BASE-T の Ethernet ネットワークに接続するには、2 対 Ethernet ケーブル (カテゴリ 5) を使ってください。

Ethernet についてさらに詳しく知りたいときは

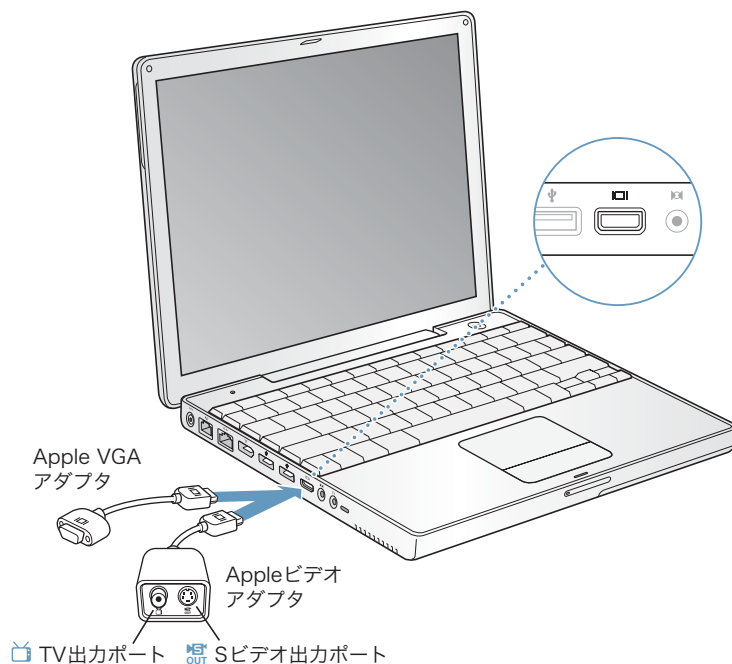
「Mac ヘルプ」には、Ethernet ネットワークの設定方法や、Ethernet を使ったファイルの転送方法など詳しい情報が記載されています (37 ページを参照)。「ヘルプ」メニューから「Mac ヘルプ」を選び、「Ethernet」か「ネットワーク」で検索してください。

お使いの PowerBook で使用できるネットワーク製品について知りたいときは、「Macintosh 製品ガイド」を参照してください：www.apple.co.jp/guide

外部ビデオ出力機能 (VGA、コンポジット、および S ビデオ)

お使いのコンピュータには、付属の Apple VGA ディスプレイアダプタを使用して外部ディスプレイ (モニタ) を接続することができるビデオ出力ポートが搭載されています。

付属の Apple ビデオアダプタを使って、テレビ、プロジェクタ、またはビデオデッキを接続し、コンピュータの画像を表示または記録することもできます。



重要 最適なパフォーマンスを得るには、お求めのコンピュータに付属している Apple ビデオアダプタだけを使用してください。

外部モニターやテレビを接続している場合は、内蔵ディスプレイと外部モニターの両方に同じ画像を表示したり（ビデオミラーリングと呼ばれます）、外部モニターで Mac OS のデスクトップのサイズを拡張したり（デュアルディスプレイモードと呼ばれます）することができます。デフォルトでは、PowerBook は、ビデオミラーリングモードで起動します。F7 (⇧) キーを押して、ビデオミラーリングモードとデュアルディスプレイモードを切り替えます。

参考：ほとんどのテレビでは表示に制限があるため、テレビ画面に表示される画質は内蔵ディスプレイや外部モニターよりも低くなります。

外部ディスプレイまたはプロジェクタを接続する

VGA 接続を使って外部モニターまたはプロジェクタをコンピュータに接続するときは、次のように操作します：

- 1 外部モニターまたはプロジェクタの電源を入れます。
- 2 PowerBook に付属の Apple VGA アダプタを外部モニターまたはプロジェクタの VGA ポートに接続します。
- 3 Apple VGA アダプタを PowerBook に接続します。PowerBook は外部モニターを自動的に検出します。

重要 PowerBook が確実に外部モニターまたはプロジェクタを自動検出するためには、先に VGA アダプタを外部モニターまたはプロジェクタに接続する必要があります。

- 4 「システム環境設定」の「ディスプレイ」パネルを使用して、外部モニターまたはプロジェクタの解像度を調節します。

ディスプレイを閉じたまま PowerBook を使用する

PowerBook に外部モニタ、キーボード、およびマウスを接続し、電源アダプタを使って PowerBook とコンセントを接続している場合は、ディスプレイを閉じたままコンピュータを使用できます。

外部モニタを接続したコンピュータを、ディスプレイを閉じた状態で使うには、次のように操作します：

- 1 USB キーボードとマウスを PowerBook に接続します。
- 2 PowerBook のディスプレイを閉じて、コンピュータをスリープ状態にします。
- 3 前のセクションの手順に従って、PowerBook を外部モニタに接続します。
- 4 数秒待つてから、外部キーボードの任意のキーを押し、PowerBook をスリープ解除します。

テレビ、ビデオデッキ、その他の映像装置を接続する

テレビ、ビデオデッキ、その他の映像装置を PowerBook に接続するときは、次のように操作します：

- 1 付属の Apple ビデオアダプタのプラグの一端を PowerBook のビデオ出力ポートに接続します。
- 2 アダプタのプラグのもう一方の端をテレビまたはビデオデッキのコンポジットビデオポートまたは S ビデオポートに接続します。
- 3 外部装置の電源を入れます。
- 4 装置での映像の表示方法を調節するときは、「システム環境設定」の「ディスプレイ」パネルを使用します。

画像は PowerBook とテレビの両方に表示されます。ただし、DVD を再生する場合はテレビのみに表示されます。

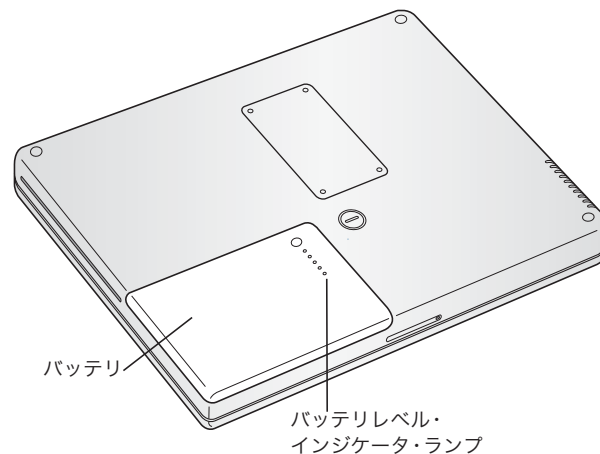
外部モニタまたはテレビの使用についてさらに詳しく知りたいときは

外部モニタの使用方法和設定方法を詳しく知りたいときは、「Mac ヘルプ」(37 ページを参照)を利用します。「ヘルプ」メニューから「Mac ヘルプ」を選び、「モニタ」で検索してください。

バッテリー

外部電源アダプタを接続していない場合は、コンピュータには PowerBook 用バッテリーから電源が供給されます。バッテリー本体に付いているバッテリーレベル・インジケータ・ランプで、どのくらいの電力がバッテリーに残っているかを知ることができます。ランプの隣にあるボタンを押したときに点灯するランプの数が、バッテリーに残っている電力を示します。インジケータ・ランプは、ボタンを押した後、数秒間ほど光ります。バッテリーを PowerBook に取り付けた状態でも、PowerBook から取り外した状態でも、バッテリーの電力を確認できます。

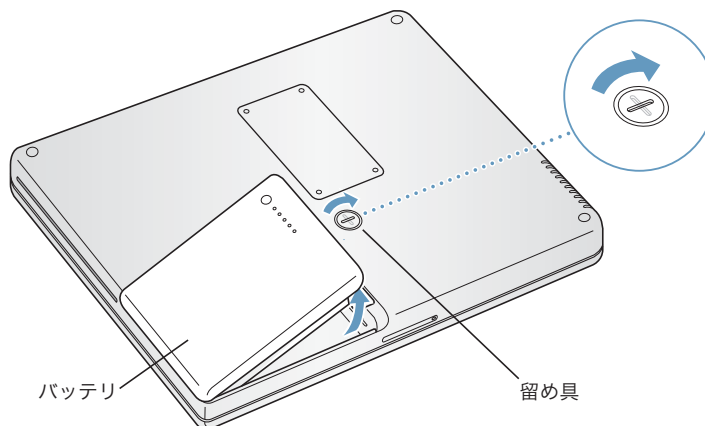
重要 ランプが1つだけ点滅している場合、バッテリーの電力が残り少なくなっています。ランプがすべて消えている場合、バッテリーは完全に消耗しており、電源アダプタが接続されない限りコンピュータは起動しません。電源アダプタを数時間の間接続してバッテリーを充電するか、消耗したバッテリーを完全に充電されたバッテリーと取り換えてください(51 ページを参照)。



バッテリーを取り外す／交換する

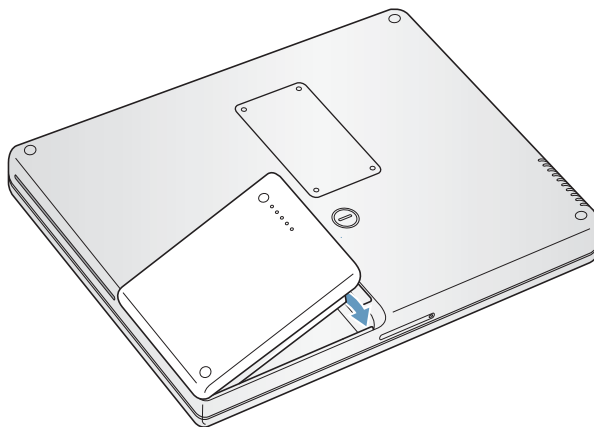
バッテリーを取り外すには、次のように操作します：

- お使いの PowerBook をシステム終了します。コンピュータを裏返し、バッテリーを固定している留め具を探します。コインを使って、留め具を時計方向に1度回して緩め、バッテリーを慎重に取り外します。



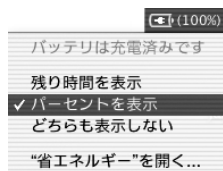
交換用のバッテリーを取り付けるには、次のように操作します：

- バッテリーの左側をバッテリー用の仕切りに挿入します。バッテリーの留め具がしっかりと固定されるまで、バッテリーの右側から押し込みます。



バッテリーを充電する

バッテリーは、お求めのコンピュータに付属の電源アダプタが接続されているときに充電されます（コンピュータの電源が入っていないときやスリープ状態のときでも充電されます）。ただし、コンピュータの電源が切れているときや、コンピュータがスリープ状態になっているときの方が充電にかかる時間は短くなります。メニューバーにあるバッテリーステータスアイコンを使って、バッテリーの充電レベルを監視することができます。



表示されるバッテリーの充電レベルは、現在使用しているアプリケーション、周辺装置、およびシステム設定（ディスプレイの輝度、「省エネルギー」設定など）での、バッテリーの電力残量を示します。バッテリーの電力を長持ちさせるには、使用していないアプリケーションを閉じ、使用していない周辺装置を取り外し、「省エネルギー」設定を調整します（53 ページの「バッテリーを長持ちさせるためのヒント」を参照）。

新しいバッテリーを調整して性能を上げる

新しいバッテリーの持続時間を最大にするには、PowerBook を購入してから最初の 1 週間ほどの間にバッテリーを使い切ってから、1 度で完全に充電します。以下の手順に従ってください：

- 1 電源アダプタを接続し、バッテリーレベル・インジケータ・ランプや画面上のメーターでバッテリーが完全に充電されたことが確認できるまで、バッテリーを充電します。電源アダプタプラグの緑色のランプは、バッテリーの充電が完了したことを示します。
- 2 電源アダプタを取り外し、PowerBook を使います。バッテリーが少なくなると、バッテリー不足を知らせる最初の警告が画面に表示されます。スリープ状態になるまで PowerBook を使い続けます。スリープ状態になれば、充電に適した状態までバッテリーが消耗しています。
- 3 電源アダプタを接続し、バッテリーを再び完全に充電します。

重要 バッテリーを調整するには、1 度だけ完全にバッテリーを空にし、再び充電します。その後は、バッテリーの充電レベルにかかわらず、電源アダプタを接続したり取り外したりすることができます。

バッテリーを長持ちさせるためのヒント

お求めの PowerBook に付属のバッテリーの持続時間は、コンピュータと共に現在使用しているアプリケーションや周辺装置および節電機能の設定によって異なります。

バッテリーの電力を節約するには、次の操作を実行してください：

- バスから電力が供給される USB 装置や FireWire 装置を使用していない場合はコンピュータから外します。
- 開いているアプリケーションのうち、使用していないものを終了します。
- 使わない CD ディスクや DVD ディスクを取り出します。
- 画面の輝度を低めに設定します。輝度の調節には PowerBook のキーボードにある輝度調節キーを使います。
- AirMac カードを取り付けている場合は、AirMac を切にします（メニューバーの AirMac ステータスアイコンを使用します）。
- ハードディスクが自動的に停止するまでの時間を短めに設定します。
- PowerBook が自動的にスリープ状態になるまでの時間を5分以内に設定します。

「システム環境設定」の「省エネルギー」パネルで、次のオプションを選択することによって、バッテリーの電力を節約できます。

- 「省エネルギー設定を最適化」ポップアップメニューから「最長バッテリー寿命」を選択し、「詳細情報を表示」をクリックします。
- 「設定」ポップアップメニューから「バッテリー電源」を選択し、「オプション」タブの「プロセッサのパフォーマンス」ポップアップメニューから「低」を選択します。

PowerBook 用バッテリーについてさらに詳しく知りたいときは

「Mac ヘルプ」(37 ページを参照) で詳しい情報を参照できます。「ヘルプ」メニューから「Mac ヘルプ」を選び、「バッテリー」で検索してください。

光学式ドライブを使用する

光学式ドライブを使用すると、CD からソフトウェアをインストールしたり、実行したりすることができます。CD に収録されたマルチメディアや、オーディオ CD の音楽を再生することができます。搭載されている光学式ドライブで、CD-R や CD-RW ディスクに音楽、書類、その他のデジタルファイルを書き込むことができます。また、DVD ムービーも再生でき、ほとんどの DVD ディスクを使用できます。

SuperDrive が搭載されている場合は、未使用の DVD-R (DVD-Recordable) ディスクに情報を記録することもできます。

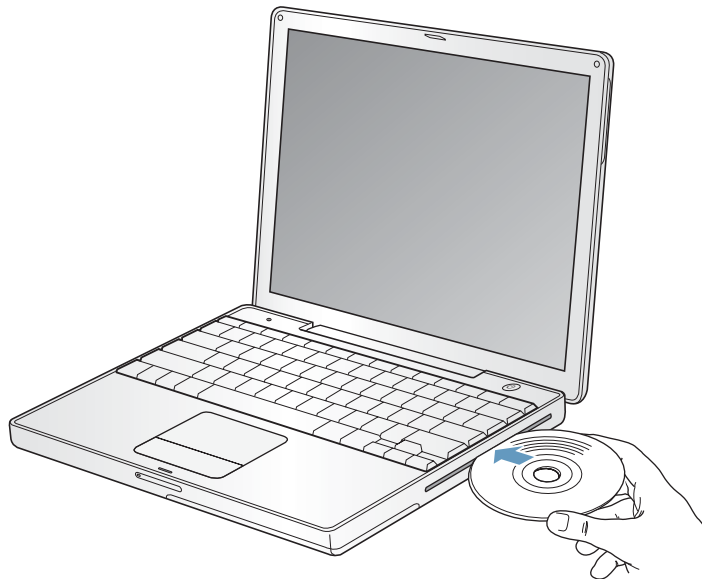
重要 PowerBook の光学式ドライブは、標準サイズである 12 cm の円形ディスクを使えるように設計されています。変形したディスクや 12 cm より小さいサイズのディスクを使うことはできません。円形以外のディスクを挿入すると、ドライブから取り出すときにひっかかる可能性があります。

参考：古いソフトウェアがフロッピーディスクで提供されている場合は、そのソフトウェアの CD を入手できるかどうかについてソフトウェアの製造元にお問い合わせください。または、PowerBook G4 用の外部 USB フロッピーディスクドライブをアップル製品取り扱い販売店または Apple Store (www.apple.com/japanstore) でご購入ください。

CD または DVD のディスクをセットする

CDまたはDVDのディスクからプログラムをインストールしたり実行したりするときは、次のように操作します：

- 1 コンピュータの動作中に、ディスクをドライブスロットに挿入し（ラベル面が上を向くようにします）、所定の場所にしっかり固定します。ドライブに正しくセットするために、ディスクをほぼ最後まで押し込む必要がある場合もあります。これは正常な動作です。
参考：DVD ディスクには、両面を使用できるものもあります。



- 2 ディスクのアイコンがデスクトップに表示されたら、そのディスクを使用できます。

ディスクを取り出す

ディスクを取り出すには、次のいずれかの操作を行います：

- ディスクのアイコンを「ゴミ箱」にドラッグします。
- キーボードのメディアイジェクト（ \blacktriangle ）キーを押して、ディスクが取り出されるまで押さえます。


ディスクを抜き取るか再セットするときは、ディスクが完全に取り出されてからにしてください。

ディスクを取り出せない場合は、ディスクを使用している可能性があるアプリケーションをすべて終了し、再度実行してください。それでも取り出せない場合は、トラックパッドのボタンを押したままコンピュータを再起動します。

DVD ディスクを再生する

PowerBook で DVD ビデオディスクを再生するには、DVD ディスクをセットします。「DVD プレーヤ」が自動的に起動し、ディスクが再生されます。

テレビ画面で DVD ビデオを鑑賞するために PowerBook をテレビに接続する場合は、「システム環境設定」の「ディスプレイ」パネルで、「720 × 480 NTSC」（日本や米国の場合）または「720 × 576 PAL」（ヨーロッパなどの場合）を選びます。

PowerBook とステレオシステムは簡単に接続できます。一端がステレオミニプラグ、もう一端が 2 本の RCA ピンプラグに分かれている音声用ケーブル（コンピュータには付属していません）を使って、PowerBook のヘッドフォンポート（) とステレオシステムのオーディオ入力端子をつなぎます。

CD-R および CD-RW ディスクに記録する

「iTunes」ライブラリから CD-R または CD-RW ディスクに、音楽を直接記録することができます。

- 1 「Dock」で「iTunes」アイコンをクリックします。
- 2 記録したいプレイリストを選択します。
- 3 空の CD-R または CD-RW ディスクをセットします。
- 4 「iTunes」ウィンドウの上部にある「CD を作成」をクリックします。

「Disc Burner」を使用して、CD-R および CD-RW ディスクにデータを記録することもできます。

- 1 光学式ドライブに、空のディスクをセットします。
- 2 表示されるダイアログで、ディスクの名前を入力します。デスクトップに CD のアイコンが表示されます。
- 3 ファイルやフォルダをディスクのアイコンにドラッグします。
- 4 「ファイル」メニューで、「ディスクを作成」を選択するか、ディスクを選択して、「Dock」の「ディスクを作成」アイコンにそのディスクをドラッグします。

さらに詳しく知りたいときは

- 「iTunes」を使って CD-R ディスクに音楽ファイルを記録する方法については、「ヘルプセンター」で「iTunes」に関するオンラインヘルプを参照してください。
- 「DVD プレーヤ」の使いかたについては、「ヘルプ」メニューから「DVD プレーヤヘルプ」を選択してください。

DVD に情報を記録する

オプションの SuperDrive が搭載されている場合は、独自のデジタルムービーを未使用の DVD-R (DVD-Recordable) ディスクに記録することができます。ファイルのバックアップなどのデジタルデータを DVD-R ディスクに記録することもできます。

「iDVD」などのアプリケーションを使用すれば、独自の DVD を作成して、未使用の DVD-R または DVD-RW ディスクに書き込み、ほとんどの標準的な DVD プレーヤーで再生できます。

「iDVD」のプロジェクトを未使用の DVD に記録するには、次のように操作します：

- 1 「iDVD」を開き、完成した DVD プロジェクトを開きます。
- 2 「作成」ボタンをクリックします。
- 3 画面の指示に従って、未使用の新しい DVD-R ディスクをドライブに挿入します。
- 4 「作成」ボタンをもう一度クリックします。

ディスク作成機能を使用して、DVD-R ディスクにデータを記録することもできます。

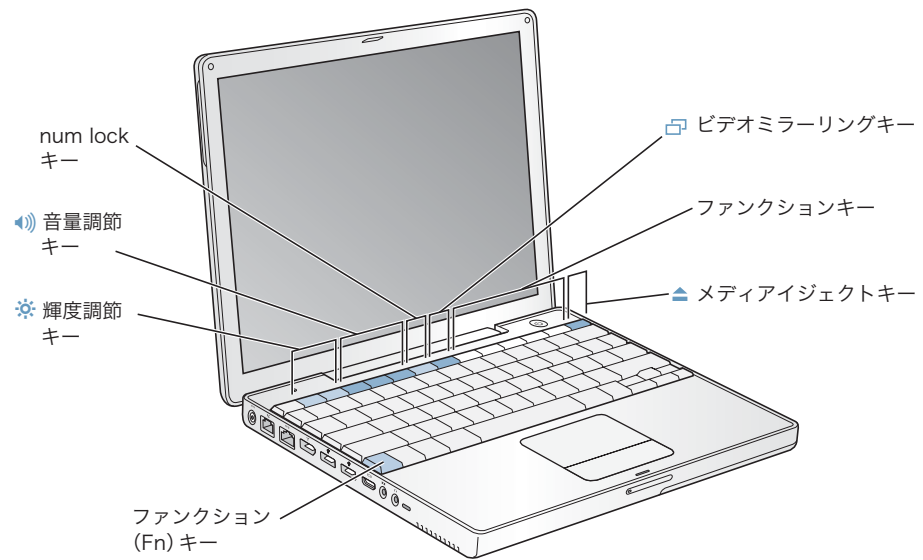
- 1 未使用の DVD-R ディスクをドライブに挿入します。
- 2 表示されたダイアログにディスクの名前を入力し、作成するフォーマットを選択します。DVD のアイコンがデスクトップに表示されます。
- 3 DVD のアイコンをダブルクリックしてから、ファイルとフォルダをそこにドラッグします。
- 4 「ファイル」メニューで、「ディスクを作成」を選択するか、ディスクを選択して、「Dock」の「ディスクを作成」アイコンにそのディスクをドラッグします。

「iDVD」の使いかたについて詳しくは、「ヘルプセンター」で「iDVD」のオンラインヘルプを参照してください。

重要 DVD の作成中にバッテリーが完全に消耗してしまうと、ディスクの作成が失敗することがあります。その場合、DVD ディスクは再使用できなくなります。これを防ぐため、DVD を作成するときは必ず電源アダプタを使用してください。

キーボードコントロール

キーボードを使って、音量や画面の輝度を調整したり、CDまたはDVDを取り出したりできます。

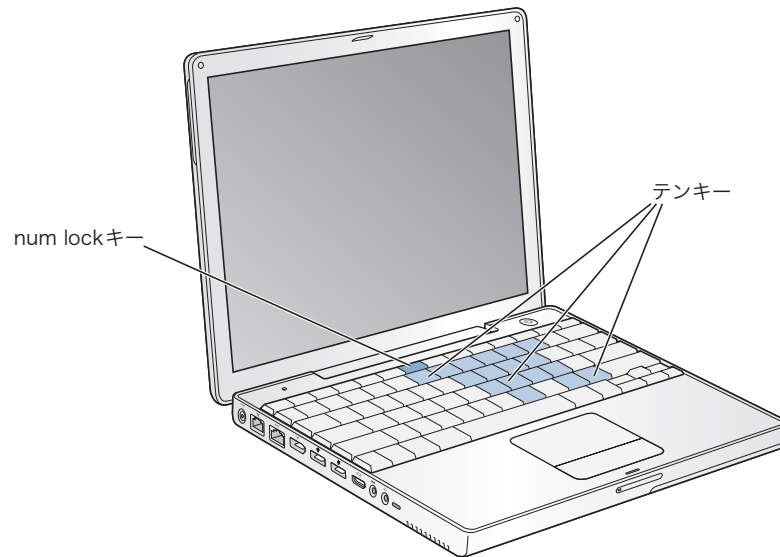


通常のファンクションキーとして使う

調節キーを通常のファンクションキーとして使用するときは、Fn キーを押しながらほかのキーを押します。「システム環境設定」の「キーボード」パネルでファンクションキーを設定できます。

組み込みのテンキーを使う

ほとんどのデスクトップコンピュータには、キーボードの通常のキーのほかにテンキーが装備されています。PowerBook のキーボードには、通常のキーボードのキーにテンキーが組み込まれています。テンキーとして使用されるキーには、小さな文字が表示されています。



テンキーを使うときは、キーボードの num lock キーを押します。num lock キーの横にあるランプが点灯し、テンキーが使用できるようになります。作業が終わったら、num lock キーをもう一度押して使用を停止してください。

参考：テンキーが使用可能になっている間は、ほかのキーやメニュー項目のキーボードショートカット（たとえば、「終了」の $\text{⌘}+Q$ など）は使用できません。

キーボードコントロールについてさらに詳しく知りたいときは

キーボードコントロールの設定について詳しく知りたいときは、「Mac ヘルプ」（37 ページを参照）を利用します。「ヘルプ」メニューから「Mac ヘルプ」を選び、「キーボード」で検索してください。

コンピュータのセキュリティ

盗難防止用ケーブルと内蔵のセキュリティスロットを使うと、PowerBook を机やテーブルなどに固定できます。

「Mac ヘルプ」（37 ページを参照）には、PowerBook のソフトウェアによるセキュリティ機能（マルチユーザパスワードやファイルの暗号化など）についての詳しい情報が記載されています。「ヘルプ」メニューから「Mac ヘルプ」を選び、「セキュリティ」または「マルチユーザ」で検索してください。

オペレーティングシステムで作業する

オペレーティングシステム (OS) は、お使いのコンピュータのデスクトップ上の項目の表示やその使用方法を定義している環境です。

お使いのコンピュータには、デフォルトのオペレーティングシステムとして Mac OS X と、Classic がインストールされています。Classic は、Mac OS X を実行するコンピュータで Mac OS 9 アプリケーションを使用するための環境です。お使いのコンピュータは、Mac OS 9 を主要なオペレーティングシステムとして使用することはできません。

Mac OS X について

Mac OS X では、エレガントなユーザインタフェース、優れたグラフィック処理能力などの最新の技術を使用できるようになり、システムの安定性やパフォーマンスが向上しています。Mac OS X によってコンピュータの処理が管理されるので、ユーザは自分の作業に集中することができます。あるソフトウェアアプリケーションに問題が生じて、コンピュータを再起動する必要はありません。Mac OS X は問題のあるアプリケーションのみを終了するので、ユーザはコンピュータを再起動しなくても作業を続行することができます。Mac OS X の仮想メモリマネージャによって、使用しているソフトウェアアプリケーションの操作に必要なメモリが割り当てられるように管理されます。

Mac OS X についてもっと詳しく知りたいときは、コンピュータのハードディスクの「書類 /Mac についての情報」に収録されている「Welcome to Mac OS X」の PDF ファイルを参照してください。このマニュアルでは Mac OS X の機能を紹介し、一般的な作業を Mac OS X で実行する方法について説明しています。Macintosh 以外のコンピュータを今までお使いで、Macintosh を初めてお使いになる場合は、コンピュータのハードディスクの「書類 /Mac についての情報」に収録されている「Mac へのスイッチ」をお読みください。Mac OS X での作業中に問題が発生した場合は、このマニュアルの巻末にあるトラブルへの対処方法のヒントを参照するか、または「ヘルプ」メニューの「Mac ヘルプ」を参照してください。

重要 お使いのコンピュータにはすでに Mac OS X がインストールされているので「Welcome to Mac OS X」で説明されているインストールの手順を行う必要はありません。Mac OS X にログインして使用を開始するときのみ、「Welcome to Mac OS X」に説明されている手順に従う必要があります。

ソフトウェアおよび Mac OS X についての情報

Mac OS X のソフトウェアアプリケーションとの互換性に関する情報や、Mac OS X についてもっと詳しく知りたいときは、アップルの Web サイトを参照してください：
www.apple.co.jp/macosex

Mac OS X で Classic を使用する

Mac OS X アプリケーションを使用しながら、ほとんどの Mac OS 9 アプリケーションを引き続き Classic 環境で使用することができます。Classic を起動すると、Mac OS 9 ソフトウェアが Mac OS X 上で、Mac OS 9 上と同じように実行されます。ただし、Mac OS X のインタフェースなど、Mac OS X の新機能は利用できません。Mac OS 9 アプリケーションを開いたり、Mac OS 9 アプリケーションを必要とする書類をダブルクリックするだけで、Classic 環境で使用することができます。Classic が稼動していない場合は、自動的に起動されます。

Classic 環境は一度起動すると、Mac OS 9 アプリケーションが起動していなくても、バックグラウンドで稼動しています。Classic 環境が稼動していると、Mac OS 9 アプリケーションや書類がすばやく開きます。Mac OS X にログインしたときに、自動的に Classic が起動するようにコンピュータを設定することができます。アップル (Apple) メニューで「システム環境設定」を選び、「Classic」をクリックして「ログイン時に Classic を起動する」を選択します。

Classic 環境を終了するには、「システム環境設定」の「Classic」パネルで「停止」をクリックします。

重要 お使いのコンピュータは、Mac OS X でのみ起動します。Mac OS 9 を起動ディスクとして使用することはできません。また、以前のバージョンの Mac OS 9 はこのコンピュータにインストールすることはできません。

コンピュータの機能を拡張する

この章では、コンピュータの機能を拡張する場合の情報や手順について説明します。

以下の作業について説明します：

- 63 ページの「メモリを増設する」
- 69 ページの「AirMac Extreme カードを取り付ける」

警告 アップルでは、メモリの取り付けを、アップル正規サービスプロバイダにご依頼になることをお勧めします。アップルの連絡先などは、付属のサービスとサポートに関する資料に記載されています。メモリの取り付けをご自分で行われる場合、装置が故障する危険性があります。ご自分で行った作業が原因で発生した故障に対して、製品保証は適用されません。

メモリを増設する

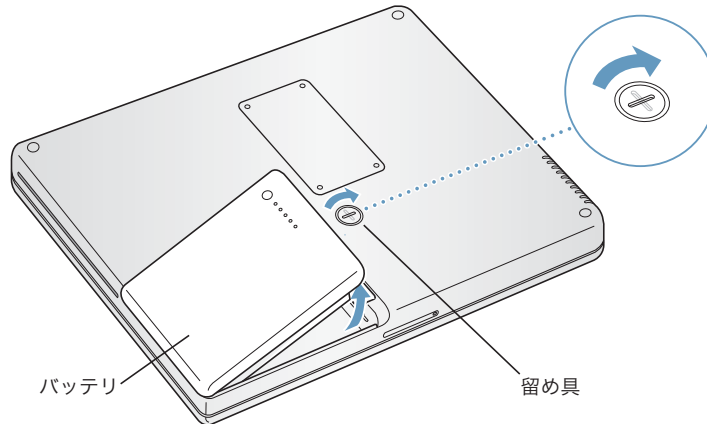
お使いの PowerBook には、メモリスロットが1つ付いています。コンピュータの底面にあるメモリパネルを取り外すことにより、メモリスロットを使用して作業することができます。お使いの PowerBook には、ロジックボードに 128 MB (メガバイト) の DDR RAM (Double Data Rate Random-Access Memory) が搭載され、メモリスロットにも 128 MB のメモリモジュールが搭載されています。メモリスロットには、以下の仕様に適合するメモリモジュールを搭載することができます。

- SO-DIMM (Small Outline-Dual Inline Memory Module) 方式
- 1.25 インチ以下
- 128 MB、256 MB、または 512 MB
- 200 ピン
- PC 2100 DDR 266 準拠の RAM

お使いの PowerBook に取り付けることができるメモリの最大容量は 640 MB です。この場合、1つのメモリスロットに 512 MB の SO-DIMM を取り付けます。

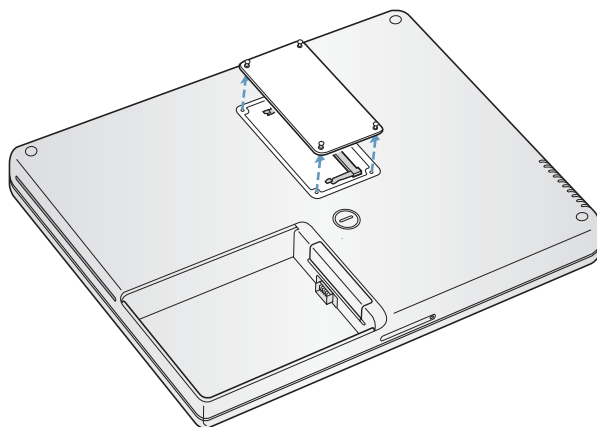
RAM を増設する

- 1 コンピュータのシステムを終了します。さらに、コンピュータの電源アダプタ、電話コード、およびその他のケーブルを取り外します。コンピュータを裏返し、バッテリーを取り外します。

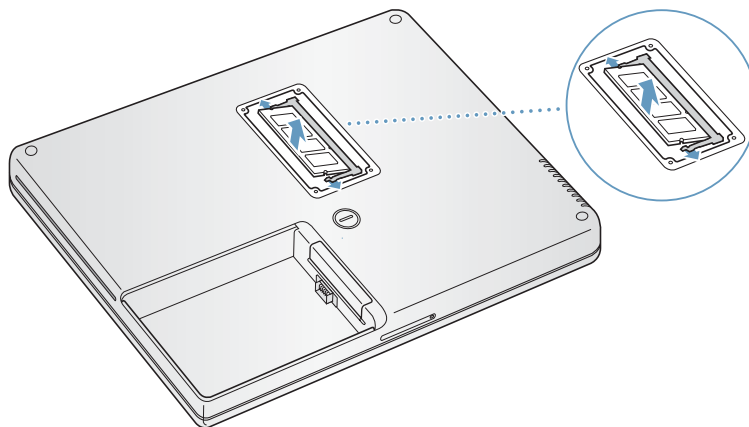


警告 PowerBook 内部の部品が熱くなっていることがあります。直前まで PowerBook を使っていた場合、電源を切ってから 30 分ほど放置し、内部の部品が冷えてから作業を始めてください。

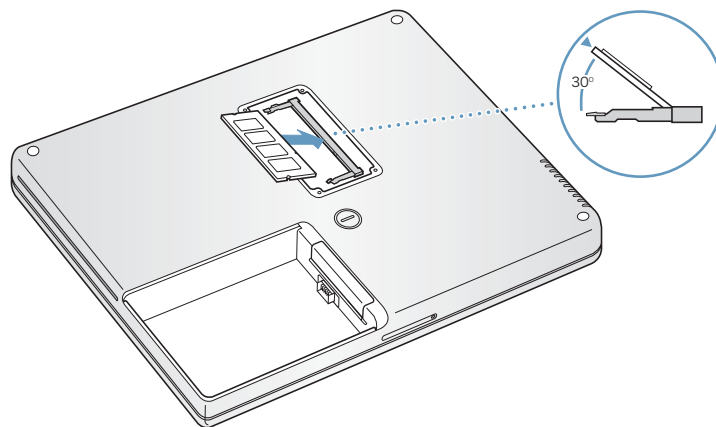
- 2 00番のプラスドライバーを使って、メモリパネルのねじを外し、コンピュータの底面からメモリパネルを取り外します。



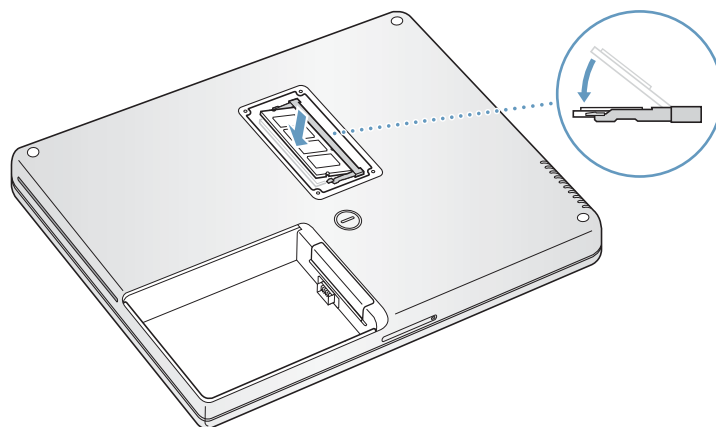
- 3 スロット内にすでにメモリカードが取り付けられている場合は、メモリカードを取り外します。スロットの突起を押し広げてメモリカードの切り欠きから離します。メモリカードが少し飛び出します。



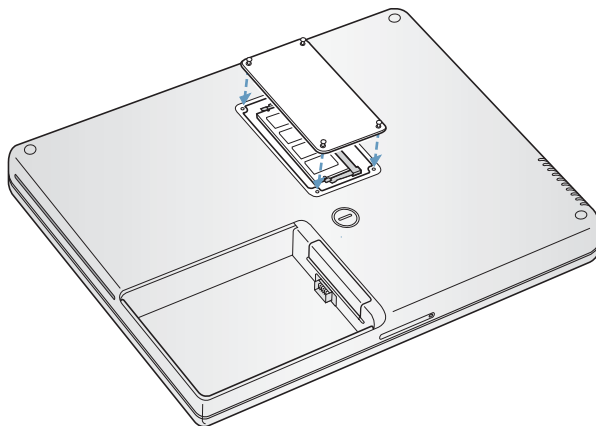
- 4 新しいメモ리카ードを 30 度の角度でスロットに挿入します。



- 5 メモ리카ードを押し込んでしっかりと固定します。

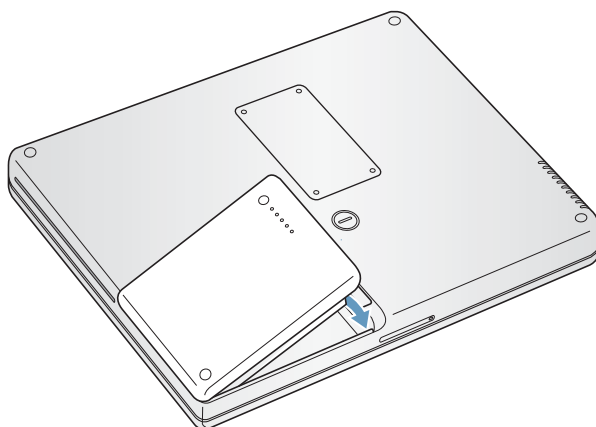


- 6 メモリパネルを再び取り付け、ねじを閉めます。



参考：ねじ穴の損傷を防ぐために、ねじを締めすぎないように注意してください。

- 7 バッテリを取り付けます。バッテリーの左側から先にバッテリーベイに挿入します。バッテリーの留め具がしっかりと固定されるまでバッテリーの右側から慎重に押し込みます。

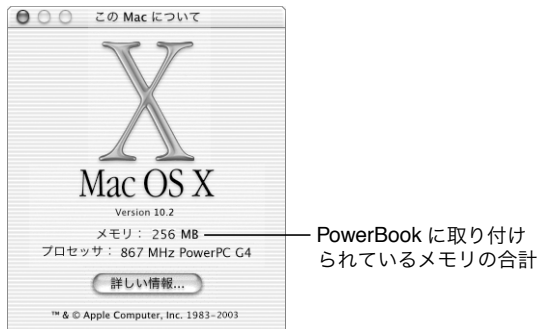


- 8 取り付けられていた電源アダプタやその他のケーブルをすべて接続し直します。

コンピュータが新しいメモリを認識するかどうかを確認する

PowerBook にメモリを増設した後に、新しく取り付けられたメモリをコンピュータが認識するかどうかを確認します。以下の操作を行ってください。

- 1 コンピュータを起動します。
- 2 Mac OS のデスクトップが表示されたら、アップル (Apple) メニューから「この Mac について」を選びます。



メモリの合計は、コンピュータに最初から取り付けられていたメモリと増設したメモリを足したものです。コンピュータに取り付けられているメモリの内訳については、「アプリケーション/ユーティリティ」の「Apple システム・プロフィール」を開いて確認してください。

メモリが認識されないか、またはコンピュータが正常に起動しない場合は、PowerBook のシステムを終了して作業手順をもう一度確認し、取り付けられたメモリに PowerBook との互換性があるかどうか、メモリが正しく取り付けられているかどうかを確かめてください。それでも問題が解決しない場合は、メモリを取り外し、メモリに付属のサポート情報を調べるか、メモリの製造元に問い合わせてください。

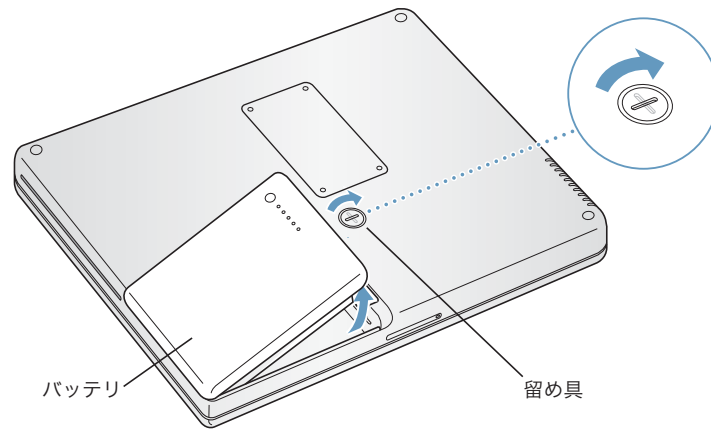
AirMac Extreme カードを取り付ける

お使いのコンピュータに AirMac Extreme カードが付属していない場合は、アップル正規販売代理店または www.apple.com/japanstore にある Apple Store で購入して、ご自分で取り付けるか、またはアップル正規サービスプロバイダに取り付けを依頼することができます。

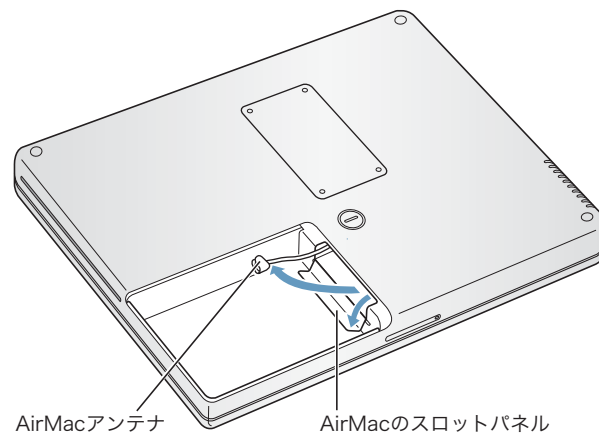
参考：お使いの PowerBook は、古い AirMac カードとは互換性がありません。必ず AirMac Extreme カードをお使いください。

AirMac Extreme カードをお使いの PowerBook に取り付けるには、次のように操作します：

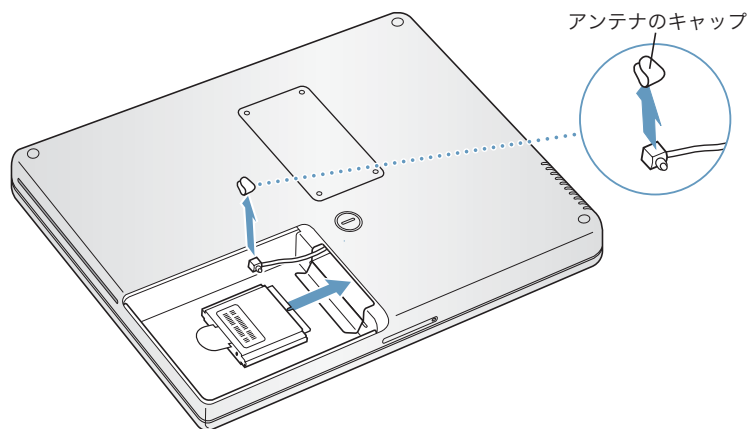
- 1 コンピュータのシステムを終了します。さらに、コンピュータの電源アダプタ、電話コード、およびその他のケーブルを取り外します。コンピュータを裏返し、バッテリーを取り外します。



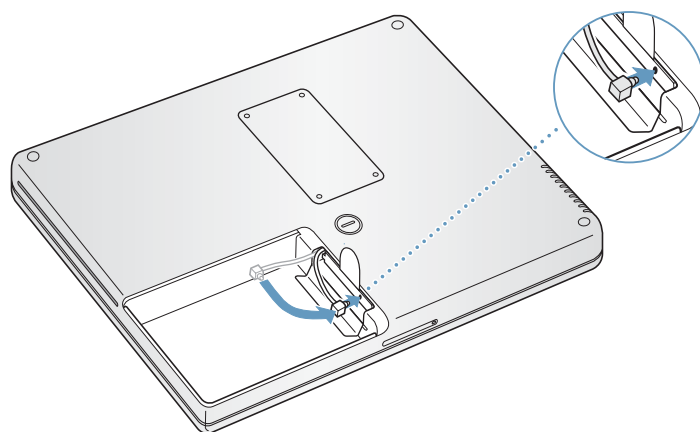
- 2 AirMac のスロットパネルを開きます。アンテナを慎重に引き抜きスロットから取り出します。



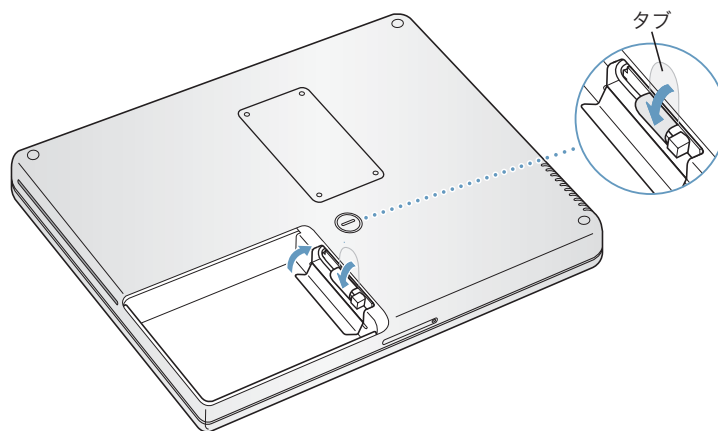
- 3 アンテナのキャップを取り外します。静電気を除去するため、コンピュータ内部の金属部分に触れます。しっかりと固定されるまで AirMac Extreme カードをスロットに差し込みます。



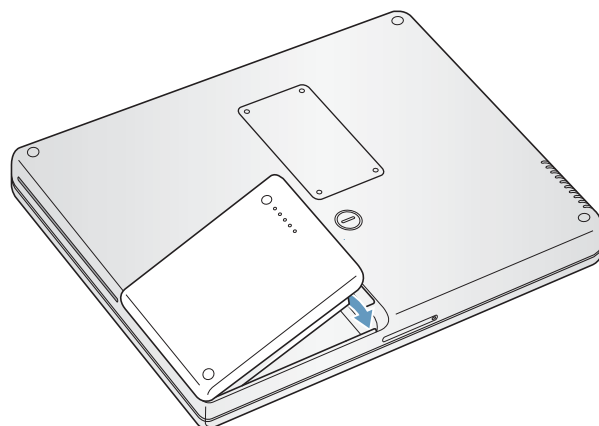
- 4 AirMac Extreme カードをアンテナケーブルの端に取り付けます。



- 5 AirMac Extreme カードの下にタブを押し込み、スロットパネルを閉めます。



- 6 バッテリーを取り付けます。



トラブルへの対処方法

PowerBook で作業をしているときに問題が起きることがあります。通常、これらの原因は、お使いのソフトウェアが適切に設定されていないか、またはコンピュータにインストールされた Mac OS (システムソフトウェア) のバージョンと互換性がないアプリケーションまたはソフトウェア機能拡張ファイルを使用していることにあります。また、場合によっては、Mac OS に問題が起きたり (通常は、コンピュータのシステムソフトウェアを再インストールしたり、ソフトウェアをアップデートしたりすれば問題を解決できます)、メモリやハードディスクなど、コンピュータのハードウェアに問題が起きたりすることがあります。

お使いのコンピュータで起きる問題のほとんどは、簡単にすばやく解決できる方法があることを覚えておいてください。問題が起きたときは、その問題を引き起こした状況に注目してください。問題が起きる前にしていたことを書き留めておけば、問題の原因を特定し、必要な答えを見つけるときに役に立ちます。以下のようなことを書き留めてください：

- 問題が起きたときに使用していたアプリケーション (特定のアプリケーションにだけ問題が起きる場合は、そのアプリケーションがコンピュータにインストールされているバージョンの Mac OS と互換性がない可能性があります。)
- 最近インストールしたソフトウェア。特に「システム」フォルダに項目を追加したソフトウェア (特定のアプリケーションによって Classic 環境と互換性のない機能拡張がインストールされる場合があります。)
- 新しく取り付けたハードウェア (たとえば、増設したメモリや周辺機器など)

この章の内容

この章には、システムが操作不能になる場合や、コンピュータが起動しない場合など、コンピュータでの作業を妨げる問題に対処する方法が記載されています。トラブルへの対処方法についてさらに詳しく知りたいときは、「Mac ヘルプ」(37 ページを参照)、アップルのサポート情報の Web サイト (www.apple.co.jp/support/)、およびサポートページ (AppleCare サポート：www.apple.co.jp/support) を参照してください。

コンピュータの使用を妨げるトラブル

コンピュータが反応しないときやポインタが動かないときは

- コマンド(⌘)キーとピリオドキーを同時に押し、ダイアログが表示されたら「中止」をクリックします。
- 上記の方法がうまくいかないときは、アップル(🍏)メニューから「強制終了」を選び、終了したいアプリケーションを選択します。Classic環境で操作しているときは、optionキーとコマンド(⌘)キーを押したままescキーを押します。ダイアログが表示されたら、「強制終了」をクリックします。次に、開いているアプリケーションすべての作業を保存し、問題を完全に解消するためにコンピュータを再起動します。
- アプリケーションを強制的に終了できなかった場合は、パワーボタン(🔋)を数秒間押し、システムを終了します。
- 上記の方法でもコンピュータが反応しない場合は、キーボードのコマンド(⌘)キーとcontrolキー、およびパワーボタン(🔋)を同時に押して、コンピュータを再起動します。

頻繁にトラブルが起きる場合は、「ヘルプ」メニューから「Mac ヘルプ」を選んでください。トラブルの予防方法や解決方法が記載されている情報を参照してください。機能拡張ファイルが衝突していないか調べたり、システムソフトウェアを再インストールしたりする必要がある場合があります。特定のプログラムを使用したときだけ問題が起きる場合は、そのプログラムのメーカーに連絡して、お使いのコンピュータと互換性があるかどうかを確認してください。

起動中にコンピュータの画面が動かなくなったり、?マークが点滅するときは

Mac OS XでClassic環境を使用している場合は、互換性のない機能拡張がある場合があります。Mac OS Xでは、システム機能拡張ファイルを使用しません。機能拡張を停止するには、「システム環境設定」を開き、「Classic」をクリックし、「詳細設定」タブをクリックして、ポップアップメニューから「機能拡張を使用停止」を選択します。「Classicを再起動」をクリックします。

それでもトラブルが解決しない場合は、Cキーを押したままPowerBookを起動し、同時にコンピュータに付属しているソフトウェアインストーラディスクを挿入します。(caps lockキーが押されていないことを確かめてください。)

ソフトウェアインストーラディスクを使用しないとPowerBookを起動できない場合は、コンピュータのシステムソフトウェアを再インストールする必要があります。手順については、75ページまたは「Mac ヘルプ」を参照するか、ソフトウェアインストールプログラムやリストアプログラムを開いて、画面の指示に従ってください。

コンピュータの電源が入らないときや、起動しないときは

- 電源アダプタがコンピュータに接続され、正常に機能している電源コンセントに接続されていることを確かめます。
- バッテリーの充電が必要な可能性があります。バッテリーの小さなボタンを押してください（50 ページを参照）。バッテリーの充電レベルに応じて1個から5個のランプが光るはずです。
- 上記の方法がうまくいかないときは、パワーボタン (⏻) を押して、すぐにコマンド (⌘) キー、option キー、P キー、R キーを同時に押します。起動音が2回鳴るまで押し続けてください。
- 最近、メモリを増設した場合は、適切に取り付けられていることと、お使いのコンピュータと互換性があることを確認します。メモリや装置を取り外して、コンピュータが起動するかどうかを確認してください（68 ページを参照）。
- 以上の方法でもコンピュータを起動できないときは、PowerBook に付属のサービスとサポートに関する資料を参照して、修理についてアップルに問い合わせてください。

作業中に画面が突然黒くなったとき、またはシステムが応答しないときは

システムを再起動する必要があります。

- 1 電源アダプタを除いて、PowerBook に接続されている装置をすべて取り外します。
- 2 コマンド (⌘) キーと control キーを押したままパワーボタン (⏻) を押して、システムを再起動します。
- 3 外部装置を接続し、作業を再開する前に、バッテリーの電力が10パーセント以上になるまで充電してください。バッテリーの充電量は、メニューバーにあるバッテリーのステータスアイコンで確認できます。

コンピュータのソフトウェアを復元する

Mac OS X、アプリケーション、および Classic サポートをインストールするには、コンピュータに付属のソフトウェアインストーラディスクを使用します。

Mac OS X をインストールする

- 1 可能であれば、重要なファイルをバックアップします。
- 2 お使いのコンピュータに付属のソフトウェアインストーラディスクを挿入します。
- 3 「Mac OS X をインストール」アイコンをダブルクリックします。
- 4 画面に表示される指示に従って操作します。
- 5 インストール先のディスクを選択した後、「オプション」をクリックし、画面に表示される指示に従います。

アプリケーションと Classic 環境をインストールする

- 1 可能であれば、重要なファイルをバックアップします。
- 2 お使いのコンピュータに付属のソフトウェアインストーラディスクを挿入します。
- 3 「アプリケーションと Classic 環境をインストール」アイコンをダブルクリックします。
- 4 画面に表示される指示に従って操作します。

参考：「iCal」、「iChat」、「iMovie」、「iPhoto」および「iTunes」は、Mac OS X の一部です。これらをインストールするときは、Mac OS X のインストール手順に従う必要があります。

その他のトラブル

アプリケーションに問題があるときは

- アップル以外のメーカーのソフトウェアで起きる問題については、そのソフトウェアのメーカーに問い合わせてください。ソフトウェアメーカーが、Web サイトでソフトウェアのアップデートを提供していることがあります。「システム環境設定」の「ソフトウェア・アップデート」パネルを使うと、自動的にアップルの最新ソフトウェアを調べてインストールするように PowerBook を設定できます。詳しくは、「ヘルプ」メニューから「Mac ヘルプ」を選び、「ソフトウェア・アップデート」で検索してください。

AirMac ワイヤレス通信に問題があるときは

- AirMac Extreme カードまたは AirMac ベースステーションに付属の説明に従って、ソフトウェアを正しく設定したことを確認します。
- 接続しようとしているコンピュータまたはネットワークが稼動していて、ワイヤレスアクセスポイントを持っていることを確認します。
- ほかのコンピュータや、ネットワークのアクセスポイントの通信圏内にいることを確認します。電気製品や金属の建造物が近くにあると、ワイヤレス通信が妨げられ、通信範囲が狭くなる可能性があります。コンピュータの場所を変えたり、向きを変えたりすると受信効率が上がることがあります。
- AirMac の信号レベルを確認します：
 - Mac OS X では、メニューバーの AirMac ステータスアイコンに最大4本の棒が表示されます。
 - Classic 環境では、コントロールバーの AirMac の部分に最大5つの緑色の点が表示されます。
- 詳しくは、「AirMac ヘルプ」（「ヘルプセンター」にあります）や、ワイヤレス装置に付属の説明書を参照してください。

ディスクの取り出しに問題がある

- ディスクを使用している可能性のあるアプリケーションをすべて終了し、再度実行してください。それでも取り出せない場合は、トラックパッドのボタンを押したままコンピュータを再起動します。

インターネット接続に問題があるときは

- 電話回線やネットワークケーブルが正しく接続されていることと、正しく動作することを確かめます。
- インターネットにダイヤルアップで接続している場合は、電話コードがモデムのポート (📞 アイコンが付いています) に接続されており、Ethernet ポート (🔌 アイコンが付いています) に接続されていないことを確かめます。
- 「ヘルプ」メニューで「Mac ヘルプ」を選びます。インターネット接続の設定方法や、インターネットサービスプロバイダへの問い合わせ先を知る方法 (「設定アシスタント」でインターネットアカウントを取得した場合) が記載されています。

コンピュータを使用しているときやMac OSを操作しているときに問題が起きるときは

- 疑問に対する回答がこのマニュアルに記載されていない場合は、「Mac ヘルプ」で操作手順やトラブルへの対処方法を調べてください。
- アップルのサポート情報の Web サイト (www.apple.co.jp/support) では、トラブルへの対処方法やソフトウェアのアップデートに関する最新情報を参照できます。

コンピュータのハードウェアに問題があるときは

- 「Apple Hardware Test」CD を使用して、メモリやプロセッサなど、お使いのコンピュータのコンポーネントに問題がないかを検証することができます。

製品のシリアル番号を確認する

PowerBook のシリアル番号は、バッテリーベイの内側に記載されています。バッテリーの取り外しかたについては、51 ページの「バッテリーを取り外す／交換する」を参照してください。シリアル番号は、「Apple システム・プロフィール」の「システム特性」タブでも確認できます。「Apple システム・プロフィール」は、「アプリケーション / ユーティリティ」にあります。

仕様

このセクションには製品の基本的な仕様が記載されています。詳しい情報は、「Apple システム・プロフィール」（「アプリケーション / ユーティリティ」にあります）およびアップルの Web サイト（www.apple.co.jp/powerbook および www.apple.co.jp/support）を参照してください。

Apple システム・プロフィール

「Apple システム・プロフィール」を使って、内蔵メモリ量、ハードディスク容量、取り付けられた装置、および製品のシリアル番号など、お使いの PowerBook の詳しい情報を確認できます。

「Apple システム・プロフィール」の情報にアクセスするには、「アプリケーション / ユーティリティ」にある「Apple システム・プロフィール」を開きます。

別のカテゴリの情報の表示／非表示を切り替えるには、ウィンドウ内の三角形をクリックします。



保守、使用、安全性についての情報

PowerBook を清掃する

コンピュータや装置の外表面を清掃するときは、以下の注意事項を守ってください。

- お使いの PowerBook をシステム終了し、バッテリーを取り外します。
- コンピュータの外表面を清掃するときは、柔らかく、けぼ立たない布に少量の水を付けて使用してください。清掃の際には装置に水などが入り込まないように注意してください。コンピュータに液体を直接吹きかけないでください。
- スプレー式の液体クリーナー、溶剤、研磨剤などは使わないでください。

PowerBook のディスプレイを清掃する

PowerBook の画面は、以下の手順で清掃してください。

- お使いの PowerBook をシステム終了し、バッテリーを取り外します。
- 柔らかくけぼ立たない布や紙を軽く湿らせてから画面を清掃します。画面に液体を直接吹きかけないでください。

PowerBook を持ち運ぶ

PowerBook をバッグまたはブリーフケースに入れて持ち運ぶときには、小物（クリップやコインなど）を一緒に入れないようにしてください。光学式ドライブのロットから、コンピュータ内部に入ってしまうおそれがあります。

PowerBook を保管する

長期間 PowerBook を保管するときは、PowerBook のバッテリーの電力が完全に消費してしまうのを防ぐために、次のいずれかの操作をしてください。

- 電源アダプタを接続したままにします。
- コンピュータを保管する前に、PowerBook のバッテリーを完全に充電します。
- コンピュータを保管するときは（コンピュータを5カ月以上保管する場合は特に重要です）、PowerBook のバッテリーを完全に充電してから取り外します。

コンピュータを安全に設置、使用するために

電源アダプタを接続する

電源アダプタの周りには常に空間を設けるようにしてください。電源アダプタやコンピュータの周囲の通気が悪くなる場所で、本製品を使用しないでください。メモリの増設やハードディスクの取り外しなど、コンピュータのケースを開いて作業するときは、事前に電源アダプタとバッテリーを取り外しておく必要があります。

警告 電源アダプタは、お求めの PowerBook コンピュータに付属しているものだけを使用してください。ほかの電気製品（PowerBook の他機種やその他のポータブルコンピュータも含む）用の電源アダプタは、外見が似ていても使用できません。不適切な電源アダプタを使用するとコンピュータが故障する可能性があります。

電話回線を内蔵モデムに接続する

メモリの増設やハードディスクの取り外しなど、コンピュータのケースを開いて作業するときは、事前に電話コードを取り外しておく必要があります。

警告 モデムは、デジタル方式の電話回線（ISDN など）には接続しないでください。不適切な回線に接続すると、モデムが故障するおそれがあります。

PowerBook を使用する

PowerBook の使用時やバッテリーの充電時には本体の底面がやや熱を持ちますが、これは異常ではありません。長時間使用する場合は、平らな安定した場所に PowerBook を置いてください。PowerBook の底面には、コンピュータ内部の熱を外部の冷たい空気と入れ換える機能があります。換気によって本体内部の温度を通常の動作時温度の範囲内に保つため、本体の底面は少し高くなっています。

警告 PowerBook の使用時にはクッションその他の柔らかい素材の上には置かないでください。そのような場所に置くと、素材によって空気が流れる出口が塞がれてしまい、コンピュータが過熱する原因となります。ディスプレイを閉じるときは、絶対にキーボードの上に物を置かないようにしてください。キーボードの上に物があると、コンピュータの電源のオン／オフが繰り返され、バッテリーが加熱して漏電することがあります。内部や外部の部品をすべて所定の位置に取り付けるまでは、絶対にコンピュータの電源を入れしないでください。コンピュータを開いているときや、一部の部品が取り外されているときに、コンピュータを動作させると大変危険です。コンピュータが壊れる可能性もあります。

警告 イヤホンやヘッドフォンを大きな音で使用すると、聴覚に障害が生じる場合があります。大音量で聞いていると耳が慣れて普通に聞こえるようになりますが、聴覚を損なう危険があります。

一般的な安全上の注意

コンピュータをお使いになる方の安全と装置の故障防止のため、常に以下の点にご注意ください。

次のようなときは、電源コードを抜き（コードではなく、必ずプラグを持って抜いてください）、メインバッテリーを取り外してから、電話コードを取り外してください。

- 部品を取り外したいとき
- 電源コードやプラグがすり切れているときや壊れているとき
- 装置の中に液体が流れ込んだとき
- 装置が雨や過度の湿気にさらされたとき
- 装置を落としたときや、装置の外表面が壊れたとき
- 保守サービスや修理が必要だと思われるとき
- 装置の外表面を清掃したいとき（前述の方法以外では清掃しないでください）

重要 電源を完全に切るためには、電源コードをコンセントから抜き、電話コードを取り外してから、バッテリーを取り外す必要があります。必要なときにコンピュータの電源を切れるようにするため、コンピュータは、電源コードのどちらか一端にすぐに手が届く場所に設置してください。

警告 付属の電源コードには、アース線が付いています。このアース線は、接地電源コンセントのみに適合します。コンセントが接地されていないためにそのコンセントに接続できない場合は、電気技師に依頼してコンセントを適切な接地コンセントと取り換えてください。アース線は、できれば接続するようにしてください。

常に以下の注意事項をお守りください。

- 飲み物、洗面台、浴槽、シャワーなど、水のある場所にはコンピュータを近付けないでください。
- 雨や雪が入り込む場所や、湿度が極端に高い場所にはコンピュータを近付けないでください。
- 電源コードをコンセントに差し込む前に、設置手順の解説をよくお読みください。
- コンピュータをお使いになる方が、いつでもこれらの注意事項を参照できるようにしておいてください。
- お使いのシステムに関する指示や警告には、必ず従ってください。

重要 電気製品は、取り扱いを誤ると大変危険です。本製品に限らず、お子様が電気製品をお使いになるときは、そばで大人の方が監視、指導してあげてください。また、電気製品の内部やケーブル、コード類にはお子様が手を触れないようにご注意ください。

警告 本製品の本体ケースの穴やすきまなどに、ものを差し込まないでください。そのようなことをすると、大変危険です。また、火災や感電につながる可能性もあります。

環境向上への取り組み

アップルコンピュータ社では、事業活動および製品が環境に与える影響をできる限り小さくするよう取り組んでいます。

さらに詳しく知りたいときは

次の Web サイトを参照してください：www.apple.co.jp/about/environment

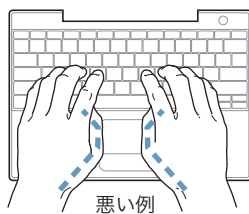
人間工学

キーボードとトラックパッド

キーボードやトラックパッドを使うときは、肩に力を入れすぎないようにしてください。上腕と前腕の角度は、直角よりも少し大きくなるようにします。また、手首と手のひらは、ほぼ一直線になるようにしてください。



入力するときや、トラックパッドを使うときは、力を入れすぎないようにしましょう。手や指をリラックスさせてください。親指を手のひらの下に入れないように注意してください。



頻繁に手の位置を変えると、疲労を防止できます。休みなしで集中して作業すると、手や手首、腕などの不快感が増す場合があります。手や手首、腕などの痛みや不快感が慢性的になってきたら、専門医に相談しましょう。

イス

イスは、調節機構つきで、快適で安定感のあるものが理想的です。イスの高さは、座ったときに太ももがほぼ水平になるように調節しましょう。このとき、足の裏全体が床に着くようにしてください。イスは、背もたれが腰の部分を支えるように調節しましょう。使っているイスの説明書などを参照して、背もたれを自分の身体に合わせて調節してください。

キーボードを操作するときにひじを直角に保つためには、イスの高さを調節する必要があるかもしれません。イスを高くしたことで、足の裏全体が床に着かなくなったときは、足は台のようなものに乗せてもかまいません。足を台に載せる代わりに、机を低くする方法もあります。また、机よりもやや低い位置にキーボード専用の台が付いている机を利用する方法もあります。

外付けマウス

外付けマウスを使うときは、マウスをキーボードと同じ高さに置いてください。また、マウスはすぐに手が届く場所に置いてください。

内蔵ディスプレイ

ディスプレイの角度を調節して、窓の明かりや照明などが反射しないようにしてください。抵抗がある場合は、無理にディスプレイを動かさないでください。ディスプレイは、140度以上は開けないようになっています。

コンピュータをある場所から他の場所へ動かすと、照明の状態が変わることがあります。そのような場合は、画面の輝度を調節することができます。

さらに詳しく知りたいときは

次の Web サイトを参照してください (内容は英語です) : www.apple.com/about/ergonomics

インターネットに接続する

インターネットに接続するには、インターネットサービスプロバイダ (ISP) のアカウントが必要です。「設定アシスタント」を使ってアカウントの設定を行うことができます。一部の国では、「設定アシスタント」を使って ISP アカウントを設定することができません。ISP に連絡してアカウントを取得し、この付録の情報を使用して接続を設定してください。

まだ「設定アシスタント」を使ってインターネット接続を設定していない場合はここで使うことができます。「ユーティリティ」フォルダ（「アプリケーション」フォルダ内）を開いて「設定アシスタント」アイコンをダブルクリックしてください。「設定アシスタント」を使用したくない場合、または「ユーティリティ」フォルダに「設定アシスタント」アイコンがない場合は、このマニュアルの付録を参照して接続を設定してください。

ダイヤルアップモデム、ケーブルモデム、デジタル加入者回線 (DSL)、Ethernet LAN (ローカルエリアネットワーク) のどれを使って接続するかにかかわらず、接続を開始するには ISP やネットワーク管理者から提供された特定の設定情報が必要です。

初めてインターネットに接続したり、設定を変更したり、新しい設定を追加する場合は、ご自分の接続方法に対応した手順に従ってください。

- PPP (Point-to-Point Protocol) 接続を使用するダイヤルアップモデム
- 以下の設定を使用するケーブルモデム、DSL、または LAN 接続
 - 手入力
 - DHCP
 - PPPoE

重要 AirMac ベースステーションを設定するには、「アプリケーション/ユーティリティ」にある「AirMac 設定アシスタント」を使用します。

ダイヤルアップ (PPP) 接続

最も一般的なインターネットへの接続方法は、ダイヤルアップモデムの使用です。電話ケーブル（ほとんどの Macintosh コンピュータに付属しています）を使って、モデムを電話線に接続します。モデムは PPP（Point-to-Point Protocol）を使って ISP に接続します。

外付けモデムの場合は、モデムに付属する設定手順書に従ってください。内蔵モデムの場合は、ISP から提供される以下の情報を手元に置いてネットワークの設定を行ってください。

- サービスプロバイダ名
- アカウント名またはユーザ名
- パスワード
- ダイヤルアップ電話番号
- 代替ダイヤルアップ電話番号



「インターネットモデム」ポートのネットワーク環境設定を設定するには、次のように操作します：

- 1 アップル (Apple) メニューで「システム環境設定」を選択します。
- 2 「ネットワーク」をクリックします。
- 3 「表示」ポップアップメニューで「ネットワークポート設定」を選んで、「内蔵モデム」を選択します。



- 4 「内蔵モデム」を「ポートの設定」リストの一番上にドラッグして、内蔵モデムを優先ネットワークインタフェース、すなわち一次ネットワークインタフェースにします。
- 5 「表示」ポップアップメニューで「内蔵モデム」を選択し、「PPP」タブをクリックします。

- 6 ISP から提供された情報を入力し、「今すぐ適用」をクリックします。



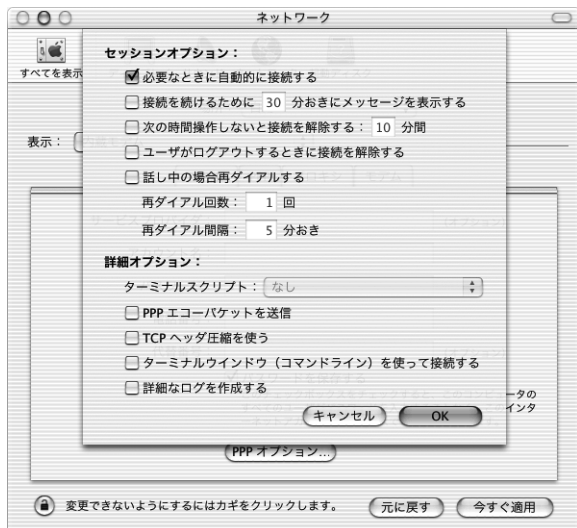
インターネット設定をテストするために、ISPにダイヤルアップして接続を確立します。

- 1 「アプリケーション」フォルダ内にある「インターネット接続」アプリケーションを開きます。
- 2 「接続」をクリックします。

WebブラウザやメールなどのTCP/IPアプリケーションの起動時に自動的に接続するには、次のように操作します：

- 1 「ネットワーク」環境設定の「PPP」パネルにある「PPPオプション」をクリックします。

- 2 「必要なときに自動的に接続する」チェックボックスを選択します。



- 3 「OK」と「今すぐ適用」をクリックします。

DSL、ケーブルモデム、LAN でのインターネット接続

DSL、ケーブルモデム、または LAN を使ってインターネットに接続する場合は、ISP またはネットワーク管理者に、以下のいずれの接続方法を使用するかを問い合わせてください。


- 接続を手動で設定する。手動で設定する場合は、静的 IP アドレスと「ネットワーク」環境設定に入力するその他の情報が ISP またはネットワーク管理者から提供されます。
- DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) を使用する。DHCP 設定の場合は、DHCP サーバが自動的に情報を入力します。
- PPPoE (Point-to-Point Protocol over Ethernet) を使用する。DSL モデムを使用していて、インターネットに接続するためのユーザ名とパスワードが必要な場合は、PPPoE を使ったネットワークの設定が必要な場合があります。

以下の情報を手元に置いてネットワークの設定を行ってください。

- 必要であれば、ドメインネームサーバ（DNS）のアドレス
- DHCP または手動による IP アドレスの設定
- IP アドレス
- ルータアドレス
- サブネットマスク

参考：ISP やローカルネットワークから DNS アドレスが提供されていない場合は、自動で DNS アドレスを提供する方法が用意されていることがあります。

まず、内蔵 Ethernet ポートのネットワーク環境設定を設定します。

- 1 アップル（）メニューで「システム環境設定」を選択します。
- 2 「ネットワーク」をクリックします。
- 3 「表示」ポップアップメニューで「ネットワークポート設定」を選択します。
- 4 「内蔵 Ethernet」を選択します。



- 5 「内蔵 Ethernet」を「ポートの設定」リストの一番上にドラッグして、内蔵モデムを優先ネットワークインタフェース、すなわち一次ネットワークインタフェースにします。

次に、ISP またはネットワーク管理者に指示されたとおりに、ネットワークを手動、DHCP、または PPPoE で設定するための手順に従います。

手動による設定

手動で設定する場合は、ISP から提供された静的な IP アドレス、ルータアドレス、サブネットマスクの情報を手元に用意して、次のように操作します：

- 1 アップル (🍏) メニューで「システム環境設定」を選択します。
- 2 「ネットワーク」をクリックします。
- 3 「表示」ポップアップメニューで「内蔵 Ethernet」を選択します。
- 4 必要な場合は、「TCP/IP」タブをクリックします。
- 5 「設定」ポップアップメニューで「手入力」を選びます。



- 6 その他の情報を対応する欄に入力します。
- 7 「今すぐ適用」をクリックします。

いったんネットワークを設定すれば、いつでも接続することができます。Web ブラウザ (または別の TCP/IP アプリケーション) を開いて、インターネット接続をテストします。

DHCP による設定

DHCPによる設定を行うと、DHCPサーバから自動的にネットワーク情報が提供されます。

DHCP による設定を行うときは、次のように操作します：

- 1 アップル (🍏) メニューで「システム環境設定」を選択します。
- 2 「ネットワーク」をクリックします。
- 3 「表示」ポップアップメニューで「内蔵 Ethernet」を選択します。
- 4 必要な場合は、「TCP/IP」タブをクリックします。

- 5 「設定」ポップアップメニューで「DHCP サーバを参照」を選択します。




- 6 「今すぐ適用」をクリックします。

Web ブラウザ（または別の TCP/IP アプリケーション）を開いて、インターネット接続をテストします。

参考：ISP から特に指示されていない限り、「DHCP クライアント ID」欄と「検索ドメイン」欄は無視します。

PPPoE による設定

DSL ベースの ISP の中には、PPPoE（Point-to-Point Protocol over Ethernet）を使用しているところがあります。PPPoE を使って接続する必要があるかどうかを ISP に確かめてください。DSL モデムを使用していて、インターネットに接続するためのユーザ名とパスワードが必要な場合は、以下の手順に従ってください。

- 1 ISP から提供された以下の情報を用意します。
 - ユーザ名とパスワード
 - 必要であれば、ドメインネームサーバ（DNS）のアドレス
- 2 アップル（）メニューで「システム環境設定」を選択します。
- 3 「ネットワーク」をクリックします。
- 4 「表示」ポップアップメニューで「内蔵 Ethernet」を選択します。

- 5 「PPPoE」タブをクリックして「PPPoEを使って接続する」を選びます。



- 6 「アカウント名」欄にユーザ名、「パスワード」欄にパスワードを入力します。お使いになっているコンピュータのすべてのユーザが同じ接続方法を使うようにしたい場合は、「パスワードを保存する」を選択します。

参考：Web ブラウザやメールなどの TCP/IP アプリケーションを起動したときに自動的に接続するには、「PPPoE オプション」をクリックしてから、「必要なときに自動的に接続する」を選択します。

- 7 「TCP/IP」タブをクリックし、ISP の指示に従って、「設定」ポップアップメニューで「PPP」と「手入力」のどちらかを選択します。ISP から静的な IP アドレスを提供されている場合は、「手入力」を選択して「IP アドレス」欄にそのアドレスを入力します。

- 8 ドメインネームサーバ (DNS) アドレスを対応する欄に入力します。



- 9 「今すぐ適用」をクリックします。

いったんネットワークを設定すると、いつでもインターネットに接続できます。Web ブラウザやその他の TCP/IP アプリケーションを開いて、接続をテストできます。

重要 自動接続のオプションを選択していなかった場合は、「インターネット接続」アプリケーションを開いて正しい設定を選択してから「接続」をクリックする必要があります。詳しくは「ヘルプ」メニューの「インターネット接続ヘルプ」を参照してください。

接続のトラブルシューティング

ケーブルモデム、DSL、LAN でのインターネット接続

ケーブルモデム、DSL、ローカルエリアネットワーク (LAN) を使ってインターネットに接続できない場合は、以下の手順を参照してください。

重要 モデムに関連した手順は、LAN をお使いの場合には適用できません。LAN ユーザは、ケーブルモデムや DSL モデムのユーザが使用しないハブ、スイッチ、ルータ、接続ポッドなどを使用する場合があります。LAN をお使いの場合は ISP ではなく、ネットワーク管理者に問い合わせる必要があります。

ケーブルや電源をチェックする

モデムの電源コード、モデムとコンピュータの接続コード、モデムと電話ジャックの接続コードなどのすべてのモデムケーブルがしっかりと差し込まれていることを確認します。Ethernet ハブやルータへのケーブルと電源を確認します。

いったん電源を切ってから再投入し、モデムハードウェアをリセットする

DSL モデムやケーブルモデムの電源を数分間切ってから再投入します。ISP の中には、モデムの電源コードを抜くことを勧めるところもあります。モデムにリセットボタンがついている場合は、いったん電源を切ってから再投入する前か後でリセットボタンを押すことができます。

PPPoE 接続

PPPoE を使ってインターネットサービスプロバイダに接続できない場合は、まずケーブルと電源をチェックしてからモデムハードウェアの電源を切ってから再投入し、リセットします。

システム環境設定の設定をチェックする

アップルメニューの「システム環境設定」を使って、PPPoE を選択していることと以下の情報を確認してください。

- アカウント情報
- TCP/IP 設定
- 一次ネットワークインタフェースが「内蔵 Ethernet」に設定されていること

次に、以下の手順に従ってください：

- 1 アップル (🍏) メニューで「システム環境設定」を選択します。
- 2 「ネットワーク」をクリックします。
- 3 「表示」ポップアップメニューで「ネットワークポート設定」を選択します。
- 4 「内蔵 Ethernet」を「ポート設定」リストの一番上にドラッグします。
- 5 「表示」ポップアップメニューで「内蔵 Ethernet」を選択します。
- 6 「PPPoE」タブをクリックします。
- 7 「PPPoE を使って接続する」を選択します。
- 8 「アカウント名」欄をチェックして、ISP から提供された正しい情報を入力していることを確認します。
- 9 パスワードの保存を選択していた場合は、パスワードが正しいことを確認するためにパスワードをもう一度入力します。
- 10 「TCP/IP」タブをクリックします。ISP の指示に従って、このパネルを設定します。
- 11 「今すぐ適用」をクリックします。

ネットワーク接続

2 台以上のコンピュータでインターネット接続を共有する場合は、ネットワークが正しく設定されていることを確認してください。ISP が単数の IP アドレスを提供しているか複数の IP アドレスを提供しているかを、知っておく必要があります。

1 つの IP アドレスのみを使用する場合は、接続を共有できるルータ、すなわちネットワークアドレス変換 (NAT) または「IP マスカレーディング」が可能なルータを用意する必要があります。設定情報については、ルータに付属のマニュアルを確認するか、ネットワークを設定する人に確認してください。このルーティング機能には、AirMac ベースステーションを使用することができます。AirMac ベースステーションについて詳しくは、オンスクリーンヘルプを確認するか、アップルの AirMac の Web サイト (www.apple.co.jp/airmac) を参照してください。

上記の手順で問題が解決しない場合は、ISP に問い合わせてください。

Communications Regulation Information

FCC Compliance Statement

This device complies with part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation. See instructions if interference to radio or television reception is suspected.

Radio and Television Interference

This computer equipment generates, uses, and can radiate radio-frequency energy. If it is not installed and used properly—that is, in strict accordance with Apple's instructions—it may cause interference with radio and television reception.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device in accordance with the specifications in Part 15 of FCC rules. These specifications are designed to provide reasonable protection against such interference in a residential installation. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.

You can determine whether your computer system is causing interference by turning it off. If the interference stops, it was probably caused by the computer or one of the peripheral devices.

If your computer system does cause interference to radio or television reception, try to correct the interference by using one or more of the following measures:

- Turn the television or radio antenna until the interference stops.
- Move the computer to one side or the other of the television or radio.
- Move the computer farther away from the television or radio.
- Plug the computer into an outlet that is on a different circuit from the television or radio. (That is, make certain the computer and the television or radio are on circuits controlled by different circuit breakers or fuses.)

If necessary, consult an Apple-authorized service provider or Apple. See the service and support information that came with your Apple product. Or, consult an experienced radio/television technician for additional suggestions.

Important Changes or modifications to this product not authorized by Apple Computer, Inc., could void the EMC compliance and negate your authority to operate the product.

This product was tested for EMC compliance under conditions that included the use of Apple peripheral devices and Apple shielded cables and connectors between system components. It is important that you use Apple peripheral devices and shielded cables and connectors between system components to reduce the possibility of causing interference to radios, television sets, and other electronic devices. You can obtain Apple peripheral devices and the proper shielded cables and connectors through an Apple-authorized dealer. For non-Apple peripheral devices, contact the manufacturer or dealer for assistance.

Responsible party (contact for FCC matters only): Apple Computer, Inc. Product Compliance, 1 Infinite Loop M/S 26-A, Cupertino, CA 95014-2084, 408-974-2000.

Industry Canada Statement

Complies with the Canadian ICES-003 Class B specifications. Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada. Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

VCCI クラス B 基準について

情報処理装置等電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

European Community

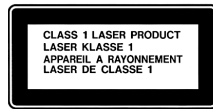
Complies with European Directives 72/23/EEC and 89/336/EEC.

レーザーに関する情報

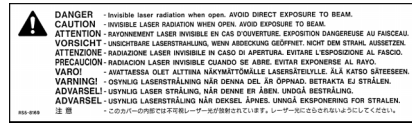
警告 お求めの装置に付属する説明書に指定された方法以外による調整あるいは操作は、危険な被曝を引き起こす可能性があります。

レーザーを格納しているキャビネットを分解しないでください。この製品で使用されているレーザービームは視覚に対して有害です。拡大レンズのような光学機器をこの製品と使用すると、視覚に害を与える危険性が高まります。安全のために、この装置の修理・点検はアップル正規サービスプロバイダにのみ依頼してください。

コンピュータがアップル製の内蔵の CD-ROM・DVD-ROM・DVD-RAM ドライブを搭載している場合にはクラス 1 レーザー製品となります。ユーザが確認できる場所に貼られたクラス 1 のラベルは、ドライブが最低の安全要求事項を満たしていることを示しています。サービス警告ラベルは、ユーザが確認できる場所に貼られています。製品に貼られたラベルは、ここに示すものと多少異なる場合があります。



クラス 1 ラベル



サービス警告ラベル

レーザー仕様 (コンボドライブ)

レーザーピックアップ部 (DVD 読み取り時)

- タイプ：半導体レーザー (GaAs / In(GaAl)P/InGaP)
- 波長：655 ± 15 nm
- レンズからの出力：0.33 mW (ミリワット)
- ビーム拡散：20° ~ 35° (標準 27°)

レーザーピックアップ部 (CD 読み取り時)

- タイプ：半導体レーザー (AlGaAs / GaAs)
- 波長：784 ± 8 nm
- レンズからの出力：読み取り = 1.0 mW、書き込み = 54.0 mW
- ビーム拡散：15° ~ 19° (標準 17°)

レーザー仕様 (SuperDrive)

レーザーピックアップ部 (DVD 読み取り時)

- タイプ：半導体レーザー (AlGaInp)
- 波長：655 ~ 664 nm (標準 662 nm)
- レンズからの出力：読み取り = 1.25 mW、書き込み = 22.4 mW
- ビーム拡散：18.5° ~ 25° (標準 23°)

レーザーピックアップ部 (CD 読み取り時)

- タイプ：半導体レーザー (AlGaAs)
- 波長：779 ~ 791 nm (標準 785 nm)
- レンズからの出力：読み取り = 1.0 mW、書き込み = 42.4 mW
- ビーム拡散：14.5° ~ 19.5° (標準 17°)

無線周波の放射について

オプションの AirMac Extreme カードの無線出力は、FCC による無線周波放射の制限値をかなり下回っています。しかしながら、無線機器の通常のご使用に際しては人体との直接的な接触を最小限にした使いかたをお勧めします。

危険性の高い行為に関する警告

このコンピュータシステムは、原子力施設・飛行機の航行や通信システム・航空管制システムなど、コンピュータシステムの障害が生命の危険や身体障害、あるいは重大な環境破壊につながるようなシステムにおける使用を目的としていません。

ENERGY STAR®

アップルは ENERGY STAR® に参加しており、Mac OS X および Mac OS 9 オペレーティングシステムを利用する本製品は ENERGY STAR® の省エネルギーに関するガイドラインに準拠しています。ENERGY STAR® のプログラムはエネルギーの効率化を実現するために、オフィスで使用する装置の製造元と提携しています。オフィスで使用する製品のエネルギー消費を削減することによって、コストを減らし、無駄なエネルギー排出による公害を減らすことができます。

Telephone and Apple 56K Modem Information

Notify Your Telephone Company

Some telephone companies require that you notify the local business office when you hook up a modem to their lines.

Information You Need in the United States

The internal modem complies with Part 68 of the FCC rules. On the back of this equipment is a label that contains, among other information, the FCC registration number and ringer equivalence number (REN). If requested, provide this information to your telephone company.

- *Ringer equivalence number (REN):* 0.68 The REN is useful to determine the quantity of devices you may connect to your telephone lines and still have all those devices ring when your telephone number is called. In most, but not all areas, the sum of the RENs of all devices connected to one line should not exceed five (5.0). To be certain of the number of devices you may connect to your line, as determined by the REN, you should contact your local telephone company to determine the maximum REN for your calling area.
- *Telephone jack type:* USOC, RJ-11 An FCC-compliant telephone cord and modular plug are provided with this equipment. This equipment is designed to be connected to the telephone network or premises wiring using a compatible modular jack that complies with Part 68 rules. See the installation instructions for details.

Telephone Line Problems

If your telephone doesn't work, there may be a problem with your telephone line. Disconnect the modem to see if the problem goes away. If it doesn't, report the problem either to your local telephone company or to your company's telecommunications people.

If disconnecting the modem eliminates the problem, the modem itself may need service. See the service and support information that came with your Apple product for instructions on how to contact Apple or an Apple-authorized service provider for assistance.

If you do not disconnect your modem when it is adversely affecting the telephone line, the telephone company has the right to disconnect your service temporarily until you correct the problem. The telephone company will notify you as soon as possible. Also, you will be informed of your right to file a complaint with the FCC.

The telephone company may make changes in its facilities, equipment, operations, or procedures that could affect the operation of your equipment. If this happens, the telephone company will provide advance notice in order for you to make the necessary modifications to maintain uninterrupted service.

The internal modem will not work with party lines, cannot be connected to a coin-operated telephone, and may not work with a private branch exchange (PBX).

Telephone Consumer Protection Act

The Telephone Consumer Protection Act of 1991 makes it unlawful for any person to use a computer or other electronic device to send any message via a telephone fax machine unless such message clearly contains, in a margin at the top or bottom of each transmitted page or on the first page of the transmission, the date and time it was sent and an identification of the business or other entity, or individual sending the message and the telephone number of the sending machine of such business, entity, or individual.

Information You Need in Canada

The Industry Canada (IC) label identifies certified equipment. This certification means that the equipment meets certain telecommunications network protective, operational, and safety requirements. The Department does not guarantee the equipment will operate to a user's satisfaction.

Before installing this equipment, make sure that you are permitted to connect to the facilities of the local telecommunications company. Be sure you use an acceptable method of connection to install the equipment. In some cases, you may extend the company's internal wiring for single-line individual service by means of a certified telephone extension cord. Be aware, however, that compliance with these conditions may not prevent degradation of service in some situations.

Repairs to certified equipment should be made by an authorized Canadian maintenance facility designated by the supplier. Any equipment malfunctions or repairs or alterations that you make to this equipment may cause the telecommunications company to request that you disconnect the equipment.

In Canada, contact Apple at: 7495 Birchmount Road, Markham, Ontario, L3R 5G2, 800-263-3394

Warning Users should ensure for their own protection that the electrical ground connections of the power utility, telephone lines, and internal metallic water pipe system, if present, are connected together. This precaution may be particularly important in rural areas.

Users should not attempt to make such connections themselves, but should contact the appropriate electric inspection authority or electrician.

- **Load number:** 0.2 The load number (LN) assigned to each terminal device denotes the percentage of the total load to be connected to the telephone loop that is used by the device, to prevent overloading. The termination of a loop may consist of any combination of devices, subject only to the requirement that the sum of the load numbers of all devices does not exceed 100.
- **Telephone jack type:** CA-11

Informations Destinées aux Utilisateurs Canadiens

L'étiquette d'Industrie Canada identifie un matériel homologué. Cette étiquette certifie que le matériel est conforme à certaines normes de protection, d'exploitation et de sécurité des réseaux de télécommunications. Le Ministère n'assure toutefois pas que le matériel fonctionnera à la satisfaction de l'utilisateur.

Avant d'installer ce matériel, l'utilisateur doit s'assurer qu'il est permis de le raccorder au réseau de l'entreprise locale de télécommunication. Le matériel doit également être installé en suivant une méthode acceptée de raccordement. Dans certains cas, le câblage appartenant à l'entreprise utilisé pour un service individuel à ligne unique peut être prolongé au moyen d'un dispositif homologué de raccordement (cordon prolongateur téléphonique).

L'abonné ne doit pas oublier qu'il est possible que la conformité aux conditions énoncées ci-dessus n'empêche pas la dégradation du service dans certaines situations. De fait, les entreprises de télécommunication ne permettent pas que l'on raccorde un matériel aux prises d'abonnés, sauf dans les cas précis prévus par les tarifs particuliers de ces entreprises.

Les réparations de matériel homologué doivent être effectuées par un centre d'entretien canadien autorisé désigné par la fournisseur. La compagnie de télécommunications peut demander à l'utilisateur de débrancher un appareil suite à des réparations ou à des modifications effectuées par l'utilisateur ou en raison d'un mauvais fonctionnement.

Veuillez contacter Apple pour des informations supplémentaires:

Apple Canada, Inc.
7495 Birchmount Road
Markham, Ontario
Canada L3R 5G2

Service à la clientèle d'Apple Canada : 800-263-3394

Avertissement Pour sa propre protection, l'utilisateur doit s'assurer que tout les fils de mise à la terre du secteur, des lignes téléphoniques et les canalisations d'eau métalliques, s'il y en a, soient raccordés ensemble. Cette précaution est particulièrement importante dans les régions rurales.

L'utilisateur ne doit pas tenter de faire ces raccordements lui-même; il doit avoir recours à un service d'inspection des installations électriques ou à un électricien, selon le cas.

- *Numéro de charge:* 0.2 L'indice de charge (IC) assigné à chaque dispositif terminal indique, pour éviter toute surcharge, le pourcentage de la charge totale qui sera raccordée à un circuit téléphonique bouclé utilisé par ce dispositif. La terminaison du circuit bouclé peut être constituée de n'importe quelle combinaison de dispositifs pourvu que la somme des indices de charge de l'ensemble des dispositifs ne dépasse pas 100.
- *Type de prise téléphonique:* CA-11

Information You Need in the United Kingdom

This terminal equipment is intended for direct connection to the analogue Public Switched Telecommunications Network and is approved for use within the United Kingdom with the following features:

- Modem facility
- Autocalling facility
- Autoanswer facility
- DTMF signaling

Operation in the absence of proceed indication or upon detection of proceed indication

This product is in conformity with relevant regulatory standards following the provisions of European Council Directives 73/23/EEC (Low Voltage Directive) and 89/336/EEC amended by 92/31/EEC (EMC Directive).

Informationen für Deutschland

Diese Modem-Karte ist als Endeinrichtung vorgesehen und muss an ein TAE mit F-Kodierung angeschlossen werden. Diese Endeinrichtung ist in Konformität gemäss Niederspannungsrichtlinie 73 / 23 / EWG sowie EMC-Richtlinien 89 / 336 / EWG und 92 / 31 / EWG.

Informations pour la France

Ce matériel est conforme aux normes applicables de sécurité électrique d'après la directive 73 / 23 / CEE et aux normes applicables de compatibilité électromagnétique d'après la directive 89 / 336 / CEE, modifiée par la directive 92 / 31 / CEE.

Information You Need in Australia

All telecommunications devices are required to be labelled as complying to the Australian telecommunications standards, ensuring the health and safety of the operator and the integrity of the Australian telecommunications network. To provide compliance with the Australian Communications Authority's technical standards, please ensure that the following AT commands are maintained:

- ATB0 (ITU/CCITT operation)
- AT&G0 (no guard tone)
- AT&P1 (33/66 pulse dial make/break ratio)
- AT\$0 = 0 or AT\$0 = 1 (no answer or answer greater than one ring)
- AT\$6 = 95 (DTMF period between 70–255 ms)
- AT\$11 = 95 (DTMF period between 70–255 ms)

For calls that are automatically generated, a total of three call attempts are allowed to a telephone number, with a minimum period between calls of 2 seconds. If the call does not connect after three attempts, 30 minutes must expire before automatic redialing may be initiated. Failure to set the modem (and any associated communications software) to the above settings may result in the modem being non-compliant with Australian telecommunications standards. Under these circumstances a user could be subject to significant penalties under the Telecommunications Act 1997.

This modem must be properly secured in order for you to use it. Telecommunications network voltages exist inside the computer and the telecommunications line connection must be removed before opening the computer.

Information You Need in New Zealand

This modem is fully approved to operate on the New Zealand telecommunications network under Telepermit number PTC 211/01/096. All telecommunications devices are required to hold a Telepermit and be labelled accordingly with the approved Telepermit number to comply with the New Zealand telecommunications standards, ensuring the health and safety of the operator and the integrity of the New Zealand telecommunications network. To ensure compliance, all calls that are automatically generated should not make more than 10 call attempts to the same number within any 30 minute period with a minimum period between calls of 30 seconds. Failure to adhere to these standards may result in the modem being non-compliant with New Zealand Telecom standards. Under these circumstances a user could be subject to significant penalties.

Important The grant of a Telepermit for any item of terminal equipment indicates that only Telecom has accepted that the item complies with minimum conditions for connection to its network. It indicates no endorsement of the product by Telecom, nor does it provide any sort of warranty. Above all, it provides no assurance that any item will work correctly in all respects with another item of Telepermitted equipment of a different make or model, nor does it imply that any product is compatible with all of Telecom's network services.